

投稿による
特集ページ



子どものころ、はまった遊び



たくさんのご投稿ありがとうございました！

投稿

朝から晩まで家の前の公園の砂場でメンコをしていました。北海道ではメンコのことをパッチと呼んでいました。雨の日は友達の家の中でも座布団の上でパッチをしていました。
竹馬です。身体が友達より少し小さかったので、少しでも身長が高くなる様に毎日練習していました。その成果が出て凄く上手くなりました。今考えると笑いが止まりません。その当時は真剣でしたので！！
子どもの頃にはまった遊びと聞いて思い浮かぶのは『ゴムとび』でしょうか。70代の母の時代からあったとのことですが、40代の私の頃とは内容が違い、主に“高さ”を競うものだったようです。私の時代は衣服用の白ゴムを長くとって、輪にしたものを2人の身体(足首～首位まで?)に通し、高さ『1段、2段…』と幅『細川～太川』という形状を作り、他の数名が決まった動きでゴムを足に絡めたりして遊ぶ内容のものでした。友人3名以上が集まり、ゴムがあれば何処でもすぐ出来る手軽な遊びでした。懐かしい(笑)
ザリガニ釣り。一日で100匹以上釣ってきて、次の日が大変なことに…。
小学生の頃サッカーにはまっていました。近所の公園で遊ぶくらいでしたが、骨折していたことも気付かないほど遊んでたなあと思い出しました。
小学生の頃は近所の子も達と缶蹴り、馬跳び、石蹴り、三角ベース野球等独自のルールを作り出して暗くなる迄仲良く遊んだなあ。中学生の頃は受験勉強そっちのけで軟式テニスに嵌まったっけ。
小学生の頃「ヨーヨー」が流行り、下手な私は、身体の内側にぶつけたり、紐で指がうっ血しても猛練習してました。
30代の男性であれば多くの方がわかると思いますが、当時の子ども向け雑誌の影響で、ミニ四駆、ハイパーヨーヨー、ピーダマンなどにはまっていました。どれも単なるおもちゃと思ったら大間違いで、大人になった今でも男心をくすぐる宝物です。
小学校時代、休み時間や放課後、毎日のように「天下おとし」で遊んでいました。ドッジボール用のボールを使い、足で4m四方の正方形を描き十字の線引きをして。ワンバウンドで隣または、対角線上の相手エリアへボールを送り、時には回転させたり次の番を待つ人も脇に並んでみんなで大騒ぎをしたことを思い出しました。なつかしいな。
竹スキー。冬雪が降ると近所の坂道で毎日竹スキーをしていた。孟宗竹や細い竹を組み合わせて手製のスキーを作ったのが懐かしい。
小学生のころ5歳離れた弟に化粧したり、短い髪の毛をしばったりして完全に生きたお人形にして遊んでいました。やられている弟もまんざらではないようで、仕上がりをみて喜んでいてのように思います。どんな大人になるのか心配でしたが、男前に成長しました(^-^)
クリスマスにサンタがくれた銀色のミニカー、ニスをつけたらピカピカになると胸を躍らせてミニカーに塗りました。翌朝、塗装がボロボロになっていました。
【はないちもんめ】や【かごめかごめ】や【とおりやんせ】が好きでした。女の子が6人集まれば、誰かがなにかを歌い出しはじまりましたね。一人だと手毬唄でまりついてたなー。
近所の友達5～6人でめんこ(岐阜ではパンパンコと言っていました)をやりました。勝つとめんこを戴けるので真剣になりました。丸形や長方形の物でした。今でも右の腕は疲れ知らずです。
近場の山に行き、ワラビ、アケビ、棕(むく)、自然薯を取り、ツバキの木に登り、花の蜜をおやつとした。
子どもの頃、田舎の一軒家でチャボ(鶏)を20羽前後飼っていたので、遊びながら昆虫を捕まえては鶏にあげていました。カナブン・アブ・セミ・蜂の子・ハツタ類etc…カブトムシ等の硬い虫とゴキブリとムカデ以外はだいたい食べるので、未だに昆虫を見ると《鶏の餌》と思ってしまいます。(笑)
紙製の着せ替え人形。好みの人形や洋服が無いときには、自分で絵を描いて作っていました。不出来ではありましたが、唯一無二のお人形でした。お気に入りできて紙製なので、しばらく遊ぶと無惨な姿になってましたが(悲)
子どもの頃はまった遊びはファミコンです。発売直後のRPGは四角を積み上げた記号の様なキャラクターでした。四角キャラとともに問題に直面、解決し長い時間をかけながら遂に大団円を迎える。小説とは違った感動がありました。もうあんな贅沢な時間の使い方はできないですね。
何と言ってもスーパーカー消しゴムとノック式ボールペンを使ったカーレースです。ボールペンのバネを使って車を弾いてコースを走ります。各自消しゴムを削って流線形にしたりジャンプ出来る形状にしたりと工夫もいっぱい。学校の休み時間の定番でした。
どろじゆん(泥棒と巡査)。他地域ではどろけい(泥棒と警察)とも。2つのグループに分かれての鬼ごっこだけど、意外と戦略があったりする。小学生の頃は毎日夢中になって遊んだ良い思い出。
土(泥)団子遊び。 雪ダルマ作りのように、色々な場所の土を転がして、土を付けて少しづつ大きくして、卓球ボールくらいの大きさにして、手で擦ると光沢を付けて、誰の団子がきれいで、強度があるか競って遊んだこと。 数人が口に水を含んで、一人が一発芸！耐えられた人の勝ち！単純ですがずっとやってました(笑)
ペイブレード 目当てのペイゴマを手に入れるため、新しい独楽の発売日には家族みんなでショッピングセンターに並びました。遊んだことより並んだことの方が鮮明に記憶しています。
ビー玉遊びです。私の故郷では、地面に一辺三十センチほどの三角を書き、その中に決めた数のビー玉を入れて各自の親玉を三メートルほど離れた処より転がして中の弾き出した玉を自分の物にして遊んでいました。
やっぱりゴム跳びです。 ゴム跳びしながら唄ったのが『ごんべさんの赤ちゃんが風邪ひいた～』や、『中、外、中、踏んで、中、外！ぐるりと回ってニャンコの目♪』など…近所の女の子のお友達と毎日のようにやりました。
「コスモスの落下傘」 庭に咲いたコスモスの茎を短く切って花だけを集めて、2階に上がり、窓から指でひねって落とします。花がクルクルと周りながら落ちて行くのがキレイでした。弟と2人でコスモスを全て切ってしまう、母に叱られました。
水風船にたっぷりの水を入れて、家の前の道路に沢山置くという遊びをしました。 気付いて避ける車もいましたが、見事ひかれて弾ける音が聞こえるのが爽快でした！運転するようになり、この様なイタズラに遭遇したくないと、反省してます。
私が子どものころは雪国育ちのせいか、雪だるまやかまくら、そして近くに土手を利用したスキーが主でしたが、当時は靴下も履かず素足で長靴をはき、長靴の中には藁が詰まっていた、ぬれると交換して夕方まで遊んだ記憶があります。
小学低学年の頃、ケン玉遊びがはやっていました。学校で休み時間になると、数名の学友と廊下に並び、「もしもし亀よ、亀さんよー」と歌いながら、順番に楽しんでたのを懐かしく思い出しました。
子どもの頃はパッチン、ラムネの玉で遊ぶ玉入れ玉当て、ゴム銃的当て、鳥打等。他10円か100円か忘れたが小刀を持っていないと仲間外れにされた、山での遊び。
近所の仲間たちと缶蹴りゲームでよく遊んだ。 一人が鬼となり缶を守る。他の人は鬼に見つかる迄隠れながら逃げる。見つければ終わりとなるが、残った人が鬼の隙をみて缶を遠くへ蹴る間に再度逃げる。全員鬼に見つかればゲーム終了。
私が子どもの頃は現代のようなゲームも無ければ公園(遊園地)などといった場所もありませんでした。唯一、はまった遊びはペーゴマです。 楽しくて毎日学校から帰るとザルの上に丈夫な紙を張り、その上でペーゴマを回して相手のペーゴマをザルの上から落とすことで優越感を味わっていました。 ペーゴマをコンクリートで擦り減らし高さを低くしてペーゴマを安定させ強くすることも友人との競争でした。
カンケリ 近所の子も達が年齢差や男女に関係なく皆一緒にカンケリで遊んでいた。まだ、緑も多く、隠れるところがいっぱいあったので、本当に楽しかった事を思い出します。
家の近所のお宮の空き地で練習用のゴルフボールで3角ベースで野球のまねをしていた。軽いボールで穴が開いており、遠くに飛ぶことは無かった。
ゴム飛びでしょうか。女の子の遊びのようでしたが、周りで見ていた男の子のグループもゴム飛びをやってみたくて教えてほしいと言われて一緒に遊んだことがありました。 女の子よりダイナミックにゴムに引っ掛かたり転んだりしていましたが楽しそうでした。あの頃のとんだり跳ねたりの動き、今も出来たら良いのになあ。
子どものころにはまったのは【ゴム跳び】です。マイゴムを持っていて、私はいわゆるよくある茶色の輪ゴムを編んだものだったのですが、ある日友だちがカラフルな輪ゴムの物を持っていてビックリ！世の中に色のついた輪ゴムがあるのを初めて知りました(笑)当時は近所の友だちが気づけば集まっていた、家の前の道路でしていたのですが、今は道路で遊ぶこともできないし、そもそも遊ぶ時間もない我が子たちを見て、今の子どもたちは大変だなあと思います。
肋骨の上段の隙間をゴールに見立ててドッジボールの玉を入れるバスケットボールのような遊び。 横に細長いので左右からロングシュートが決まりやすいなど、バスケットボールとは異なって楽しかった。
小学5年生の頃、ローラースケートにはまりました。お年玉やおこづかいを貯めてローラースケートを買い友達と毎日滑りました。それがきっかけで、後にアイススケート、スキーへと趣味が広がっていきました。現在はスキーにはまっています。
たくさんのおもちゃが普及した頃でしたが、小学校の国語の教科書で「影法師」を知った日、友達とやってみてびっくりしたのを思い出します。今でも時々やっています。
小学生の時、「ワンバンノーバン」 鬼？が空高く投げ上げたゴムボールをツーバウンドする前に捕れば次に鬼になって投げ上げることができる、これを休み時間や放課後延々とやりました。「石けり」もしました。数メートル離れて向かい合った長方形の陣地の自陣から敵陣に石を投げ入れて決まった歩数ケンケンで行って石を取って帰ってくる。歩数を順に増やしていき味方のメンバーの誰かが失敗するまで攻撃を続けられる。みんなどんどん上手くなってしまおうと石を肩や頭に載せて決まった歩数で敵陣に行き帰ってくるような難易度の高いものまで編み出されとても楽しかったです。遊びから基本運動能力やチームワーク、新しいことを考え出す力を育てていたとも言えますね。
初代ゲームボーイのポケモン赤と緑。あまりゲームに興味がなかった私ですが、唯一最後まで遊んだゲームでした。 スマホアプリのポケモンは夫と散歩がてらに始めましたが、長続きしませんでした…
子どものころにクラスの男子皆ではまっていた遊びは「コインサッカー」です。両手でゴールを作って、三枚のコインを弾いて遊ぶのですが、あれって全国区の遊びだったんでしょうか。その派生で「コインバスケット」というバスケバージョンもありました。
父親が山で竹を切ってきてくれて、竹馬を作って遊んだことが忘れられない思い出です。自転車に初めて乗った時の感覚と似ていて、最初はふらついてうまく歩けなかったのが、30分もすれば走れるくらいに上達し、階段や水たまりの中でも挑戦して楽しかったです。

「はまる遊びは時間を大量消費する」 小学生のときにはゲームボーイが発売され、ポケモンが大流行して友達と競い合っていました。今となっては、大人になることで、お金と時間の掛け方が反転して、ゲームをすることは少なくなり、あの頃の時間が愛おしく感じます。
近所の同年代の子どもらと遊んだベイゴマ(鉄製)である。櫛に布を張って回してはじき出した方がはじき出されたベイゴマをもらえる遊びで如何にはじき出させるかということに苦心。一つの方法はやすりでベイゴマを削って形を変えたり高さを低くしたりしてそれぞれ工夫したものである。
子どもの頃は、初代ポケモンを友人と外でよくやりました。大人になってからは、家族でポケモンGOをやっています。まさか親とポケモンの話をする時が来るとは思っていませんでした。
小学生のころ、友達との間で文通がはやっていました。可愛い便箋を選んだり、便箋を折紙感覚でいろんな形に折ったりして、とても楽しかったです。今思うと、メールにはない楽しさですね。
小学生のときに流行った「光る泥だんご作り」。誰よりもピカピカな泥だんごを作るために、どの土が良いのかをひたすら研究。途中で割れてしまったときのショックは大きかったですね～。
今から35年以上前の電子ゲームがなかった時代、ゴム縄びが流行りました。パジャマのズボンのゴムに似た物を輪にして、そのゴム一つあればどこでも楽しめました。複数人でも、一人でも出来ます。一人の時は、太い木や、太めのポールを見つけて両方にかけて、ゴムの中に入ったり、跨いでねじって飛んだり、それを人より高い位置で出来ることで競っていました。今は全く見かけなくなりましたが、かなりの運動量だったように記憶しています。
シール集め・・・とかくなんでも集めました。お菓子のおまけのシールやアニメキャラのシールやかわいいキャラシールとかジャンルを問わず。今でも実家の物置にあるはず・・・。
小学生の頃、ゴム跳びをいつもしていました。向かい合った二人の足に輪っかにしたゴムを渡し、そのゴムを決まったリズムで跳ぶ遊びです。今の子ども達がやっている所は一切見たことがないので、廃れてしまったのでしょうか。私は今でもふとやってみたくありません。
子どものころハマった遊びは、ダンスダンスレボリューションというゲームです。家庭用に機械も買って、学校から帰ってはダンレポをして、牛乳を一気飲みするのが日課でした。そして、週末ゲームセンターで皆の前でキレイキレイのダンスを披露することに情熱を注いでいました。
川の上流の田舎で育ったので、夏休みは毎日川に行き、川魚を追っかけていました。その漁の方法は、「えだ探り」といって水の中にある川魚(はや等)が潜んでいそうな石を見つけ、そこにある穴に両手を突っ込んで川魚を捕まえるというものです。魚が逃げないように、いかに両手をうまく使うかというのがポイントです。捕った魚は家に持ち帰り、母に煮てもらい、夕食のおかずの1品になりました。
田舎なので、神社で肝試しをいつもしていました。神社の裏手はいつもひんやりしてちょっと怖かった記憶があります。
壁に向かって逆立ちをする。家で姉妹で何度も壁に逆立ちをして遊んでいたら、妹が壁と距離を取りすぎて、足が壁に届かず倒れ、お尻で壁に穴を開けてしまいました。
毎日まごどで遊んでました。一緒に遊ぶ友達全員がママをやりたいので、それぞれシートを敷いた全員ママの独居スタイル。プツプツ独り言をしゃべりながら料理、洗濯、掃除して井戸端会議まで再現。作りすぎた料理をお裾分けしたり、調味料を借りに行ったり、古き良き昭和のままごとでした。
面子遊びにハマった子ども時代。辺りが暗くなるまで、友達と取ったり取られたりしながら遊んでいました。お気に入りの面子は絶対死守する、そんな覚悟で遊んでいたのが思い出されます。
東京ベースボール(本壘、一壘側、二壘、三壘を白線で囲み、テニスボール(本当のテニスボールではなく、ゴムボールを使用)投手は打者に向かってワンバウンドで投げて、打者は平手で白線内でボールを弾ませ、遊ぶ)
近所に竹馬を作ってくださる方がいたので、竹馬にはまっていました。最初は低い位置から乗り始め、慣れてくると、だんだん位置を高くしてもらい、誰が一番高い位置で乗ってるか競い合っていました。
石割りです。何かの弾みに、きれいな断面を見たのがキッカケです。子どもなので、ピンポン玉くらいまでの物が対象で、家の敷地内にある石を片っ端からハンマーで割っては見ていました。そんな私を不思議そうに見ていた父親の顔を今でも覚えています。
家から自転車で30分ほどで着く東伏見に池があり、クチボソと言う名の小魚が釣れました。楽しみの少ない時代(昭和30年代末頃)だったので、週末などはおじさんから子どもまでひしめき合って釣っていました。クチボソは口が上を向いており、なかなか釣れないのですが、掛かった時の高揚感は小学生の自分には非常に魅惑的でした。たまたま好きでした。
子どもの頃といえば終戦前後・小学低学年の頃で、はまった遊びはメンコとビー玉でした。物資貧困の時代で少ない小遣いをやり繰りして貯めたメンコとビー玉は宝物のようなものでした。それぞれ戦いには技量を要し、随分練習に打ち込んだものでした。それだけに戦果の上がった時には家族に自慢することもできず独りぼくそ笑っていました。
鹿児島で育ちました。缶けりなどが好きでした。また、名前は忘れましたが、ゴムボールを相手に叩きつける遊びは特に面白く、小学校(原良小学校！懐かしい！！)の休み時間に夢中になって遊びました。確か「タツツケ」「タツツケ」「ウツツケ」のような語感だったような？他にゴムとびは女の子の遊びということでほとんど参加しませんでした。実は得意で好きでした。
農家で稲刈りの後藁を積み上げた上に乗って遊ぶのが楽しくて友と何度も乗ったり落ちたりして、しまいには崩れてしまったりして農家の人に怒られても、怒られてもやめなかった。ごめんなさい。
もともと楽器が好きで、木琴やオカリナ、リコーダーでよく遊んでいた。クリスマスにハンドベルを買ってもらった後は、母や姉と一緒に演奏を楽しんだ。
出身が青森で、冬の時期は竹スキー、ミニスキーで遊んでいました。竹スキーは、半分の竹で、先端は曲がっています。今でも売っているのかな？ミニスキーは、プラスチック製でジャンプするとよく割れていました。
リリアン。小学生の頃 みんな持っていたけど私は欲しいと言えない子どもで もうブームが去った頃でしたが、ふと母が「欲しいなら買って来たら」と言ってくれて 走って駄菓子屋に買いに行きました。当時 50円くらいだったかな。もっと流行ってる時に欲しいと言えば みんなと遊べたのにと思いましたが、気に入ってずっと遊んでいました。なんとなく捨てられなく 実家のガラクタ入れに入っています。
お買い物ごっこ。スーパーで友達とそれぞれ買い物をして、店内で友達にあつたら、「あら奥さま、お買い物していらっしゃるの？」「ええ、うちはお金持ちだからお金が余ってしょうがないんですよ」なんて金持ちの奥さんのつもりで会話するというくだらない遊びでした。
小学生の頃、友達同士で可愛い便箋やメモ帳、シールを交換するのが流行っていて、休み時間は交換し合ったり見せ合ったりしていました。ファイルがパンパンになるくらい集めたのに、大人になった今どうなってしまったのか思い出せませんが、今でも文房具売り場などを見ると思い出します。
夏の休日は自作の銚子を自転車に積み、川へ魚を突きに行きました。陽が落ちる頃帰宅、捕れた魚は夕飯のおかずになります。
お正月の遊びに、コマ回し鬼ごっこがあった。紐を巻きつけたコマを投げながら引っ張って手のひらに載せ、これが回っている間だけ追いかける。他のルールは鬼ごっこと同じ。いやでもコマ回しが上手になり、子どもは風の子になれる。懐かしい思い出・・・
やはり、りかちゃん人形でしょうかね。今、思えば、友達との力関係でしたのでしょうかね。いつも、いづみちゃん担当の私でした・・・。わたるちゃんは、また、別の友達。就学する前から、社会勉強をしていた気がする・・・。(笑)懐かしいな・・・
小学生の頃に今は亡きパーソナルコンピュータのMSXでゲームのプログラム作りにはまっていました。データの記録がカセットテープだったのが懐かしい。
一般的にはメンコというようですが、生まれ育った栃木ではパーと言っていました。よく近所の子ども同士で遊んでました。絵柄の良いものを含めて3000枚位は持っていました。
子どもの頃ハマった遊びは、スケボーです。テレビで見てねだった私に祖父が板に車輪を付けて手作りしてくれました。今の若者のように立って乗るのではなく、またがって座り、坂道を滑って遊んでいました。今考えると、とても危険で自分の子どもにはさせたくないです・・・
れんげそうの花がいっぱいの、田んぼのなかで、『石投げっこ』(ボールなどないので、そこら辺の石ころを投げる遊び)に夢中でした。たまに、おでこのあたりに、傷をつけ、家に帰って母親にアカチンキを付けられ、しみるのなんの、大変な思いをしたところが蘇りました。ところで、当時(昭和30年代)傷害保険等の生命保険は入っていなかったはず？今思うところ、無頓着で、まあ、なんとでも大らかな時代だったんですね。
番号当て。小学生の頃0～9の数字を決めて、通りすぎる車のナンバープレートにその番号があれば一点。到着するまでに何点とれるかという遊びを毎日していました。1～9より0は圧倒的に不利で、0を取って選ぶ勇者は、負けたとしても誉め称えられました。その為0は人気が高く、いつも0の取り合いのじゃんけんが一番盛り上がりついていたのを覚えています。
ヨーヨー。某ドリンクメーカーのヨーヨーが大人気！地区の大会まで開催されていました。ブランコや東京タワー、犬の散歩、両手(2個)投げの技なんかを毎日練習してました。勉強せずにヨーヨーばかりしてて母によく叱られました。
ぴかぴかの泥団子づくり。ビール瓶の蓋にもつめてぴかぴかに。やっぱりサッポロの星マークがカッコよくて父親に飲んでとねだりました。
小学校低学年の頃、秘密基地を作るのに夢中でした。学校の友達と、道端や町工場の跡地から、トタンや、ダンボール、アルミ板などを集めて、テント型や、トンネル型、箱型など、競うように作ったものです。基地の中に、漫画やカード、おもちゃを持ち込んで、隠してみたり、戦争ごっこで、敵味方に分かれて、基地を攻めたり、隠してあるものを奪ったりと、楽しくてたまりませんでした。
子どもの頃、家族でひとつの絵を描いて、似ている順にお菓子を多くもらえるという遊びをしていました。家族全員で集まることも少なくなり、お菓子のために本気で挑んでいた頃を思い出すと、いまを頑張らなきゃなあと思います(苦笑)
実家は青森ですが、冬はソリ遊びに夢中でした。友人宅の2階の屋根から道まで雪のスロープがつながっていて、そこを高速で滑り降りるという、今になって考えると恐ろしいことをやっていました。子ども達には真似させられません。
小さい頃からミニカーなど車が好きだったからか、小学生の頃からはずっとミニ四駆にはまっていました。漫画の主人公に憧れて学校やキャンプにも持っていったり、放課後は男子に混ざってレースをしたり。あの頃頑張ってくれたマシンたち、今は飾って楽しんでいます。
小学生のころに、カブトムシ採集にはまりました。夏休みの毎朝、早起きして、自転車で片道15分程度かかる里山へ出かけ、カブトムシを取って家に帰り、その後「ラジオ体操」会場の神社へ行って体操するというのが、夏休みの日課でした。
ローラースケートかな？鉄のローラーの物を靴に取り付け滑っていたが、小石などが有ると転んで痛い目にあつた事で、滑る前に掃除したり、結構準備が大変だった。
ビックリマンのシールを集めて遊んだ。箱買いで、毎日袋を開けるのが楽しみだった記憶がある。最近の子が、ゲームセンターで、カード集めているのを見ると昔も今も収集して遊ぶのは同じだなー、と懐かしくなります。
川釣りにハマりました。釣り糸を歯で切って、お腹に虫ができて母を驚かせたり・・・笑。薬を飲んで一発で治りました。よいこの皆さん、釣り糸はハサミで切りましょう！
小学校から帰るやいなや、ランドセルを家の中へ放り投げ、いつもの遊び場所へ走って行きました。そこにはすでに遊び仲間が集まっており、地面に数枚のメンコを置いて、今や遅しと待ち構えていました。小さいメンコで相手の大きなメンコを裏返しに出来た時の爽快感は何とも言えず、日が暮れてメンコの絵模様が見えなくなるまで肩の痛みも忘れ、夢中に遊んだことが懐かしく思い出されます。
「つち(土)」って遊びで地面に大きな円と中央へ手形サイズの円を描き、中央円には土、その回りに場所を書きます。皆で円から離れ石ころを放り投げ、止まった場所へ行き戻ってきた順番を競ったものです。ちなみに土は地面を表しているなのでその場でゴールです。
地蜘蛛の巣を引き抜いて蜘蛛を取り出す遊び。地蜘蛛の巣は日陰なところに沢山あるので、近所の家や公園の壁など引き抜いて回った。太い巣から大きな蜘蛛が出てきたりすると、叫んで逃げ出した。
私は中学生の時、おこづかいを貯めてスポーツタイプの自転車を購入して、長期休みの時は友人と自転車でツーリングやプチ旅などをして、自転車にはまっていました。そんな事もあって、現在も健康促進の為に、休日はロードバイクで楽しんでいます。
時代劇で「おにぎり」と「竹の水筒」を持って旅をする姿を見てまねをして、竹を切って水筒を作り「塩おにぎり」を竹の皮で包みこれらをもって山遊びに行きました。
『木の上の砦で遊ぶ』NHK西郷どんで時折、自宅の木の上のぼり議論するシーンがありますが、子どものころ友人宅の大きな木に登って遊び、友人のお母さんに『あんなかどー(危ないよー)』と叱られたことを思い出しました。

庭にくるスズメを何とか捕えたいと考え、近所の友達と竹のかごを使って罟を仕掛けたが、中々上手くいかず罟の形状を何日も考えて色々工夫した結果、成功したときは大変嬉しかった。そのことがきっかけで技術屋の道を選んだものと思う。なお、捕まえたスズメは母親から「かわいそうだから逃がしなさい」と言われ解放した。
リリアン編み 沢山編んでこれでもかと名札に着けていた。名前が見えないからつける量を減らしなさいと先生から注意された。
ひとり野球です。一人っ子の私は自分でボールを打って、自分で拾いに行っていました(笑)
よく兄と近所のコンクリートのあるところで遊んでいました。それは、今でいうパンボン(ミニテニス)みたいな遊びで、石で地面にコートを書き、柔らかいゴムボール一つだけで、ラケット代わりに手のひらでボールを打ち返していました。日が落ちてボールが見えなくなるまで遊んでいた50年以上前を思い起こします。
社宅のアパートの裏に草むらがあり、草を縛って屋根のようにして、キャンプごっこをした。缶蹴りをして必死で缶を蹴るのが楽しかった。馬乗りも楽しかった。馬の役目が何人かいて、その背中にどんどん飛び乗っていく。何人乗れるか競った。
50年以上前、竹で作った杉玉鉄砲を杉林の中で遊んでいました。でも、花粉症にはならなかったなあ。子どもが3人おりますが、家族全員幸いにも花粉症ではありません。杉玉鉄砲で抗体ができたのかな。
昭和30年代を子どもとして育った私たち団塊世代では、遊びの対象はすべて大自然を相手として日々を過ごしたものでした。春夏秋冬、その季節に応じた遊びで体も心も鍛えられたものです。春は野山の花摘み山登り、夏は海川での魚とり、泳ぎ、飛込など、秋は栗、柿もぎ、木の実取りの木登りなど、冬は田んぼスケート、山のスキー、鬼ごっこなど。遊びの道具などは殆ど自分の手作りのもので、粗末なものでした。しかし、その遊びや道具の工夫などを通じて友情や、思いやり、手先の技術、遊びの危険性、など、その後の人生に役立つさまざまな教訓を学ぶことができたのだと思います。
小学生の頃狭い公園でハンドベースボールを三角ベースでよくやりました。集まる人数が少なく、狭い場所なので、軟式テニスボールを手で打ち、あまり飛ばない様にして、普通の野球の二塁が無い三角ベースで、送球も普通の野球のアウトに加えて、走者に当てればアウトという特別ルールを作って楽しんでいました。子どもの頃は既成概念にとらわれず自分達で楽しむ方法を自由に考えて遊んでましたね。懐かしく思います。
ザリガニ釣りにはまりました。そのころはまだアメリカザリガニが少なく、日本ザリガニばかりが釣れました。今やザリガニといえばアメリカザリガニしかいなくなり、少し寂しい気がします。
近所の友達と近くに森でいつもかくれんぼしていた。木の上や草茎はもちろん、枯れ葉の下に穴を掘って隠れるなど、本気で隠れて毎回1、2時間は見つからなかった。いつも泥だらけで帰った良い思い出です。
近所の友達や同級生達とよくメンコで遊んだものです。相手のメンコを返すにはテクニックと袖の大きい服が良かったと記憶しています。今でもメンコはあるのでしょうか？今の子ども達はメンコ返し出来るかな？時代が変われば遊びも随分変わるものですね……
小学校の頃です。家の軒下で小屋を手作りで鳩を7〜8羽飼ってました。羽の色が違い毎日上空を群がりながら飛んでいる姿、楽しく思い出しました。最近上空を飛んでいる姿を見なくなり寂しく思います。
竹筏で船作り。幼い頃は田舎に住んでいたので、友達や親戚の子と竹筏で船を作り、それを用水路に流して、誰の葉っぱが一番早く流れるか。という遊びをよくしていました。学校帰りなんかは、一人でその辺の葉っぱをちぎり、用水路に流して葉っぱの行方を追いつながら帰っていましたね〜。流れが緩やかで、用水路に落ち葉などが溜まっている箇所があったので、そこに葉っぱが引っかかってしまい、一時的に足止めされる事もありましたが、そこを抜け出せた時には、ものすごく嬉しかった覚えがあります。
三輪車。だっだっ公園で乗るのでは無く、家の周りの狭い通路をぶつからずに通る。しかも前進だけでなく、バックでも。おかげで大人になっての自動車免許は全ての段階で一発合格！バックでハンドルをどっちにきいたら良いかわからないと言う感覚は全くありませんでした(˘˘)
小学生の夏休み、姉と二人で小さなお人形さんのお洋服を作るのにハマりました。デザインを考えてポケットや飾りボタンをつけて、完成したお互いのお洋服を見せては褒めあっていました。しかし洋裁の技術が伴わずファスナーやボタンホールはつけられず、いちいちお人形さんの頭を引っっこ抜いて被せていました。笑
『コマ回し』 鉄芯、鉄輪付きのコマを、先に回している相手のコマ目掛けてカー杯投げつけていました。家に帰ったらバケツの水に沈めて木が乾燥して縮まないようにする事も忘れずに。毎日飽きもせず、回し紐も自分で端切れの布を擦って研究していました。あの情熱を勉強に向けていたらきっと今頃は…多分一緒かな。
みかん箱をいくつか貼り付け穴を開け、着ぐるみの様に着て、ロボット(多分戦隊モノ…)ごっこしている写真があります。昔はこんな素朴な(?)遊びを姉妹でしていましたが、現代では危ないので親が止めるでしょうね。
将棋にハマって近所のご高齢の方々とは触れ合うツールにもなっていた。
ゴム跳び。小学生のとき、友達が集まってはゴム跳びばかりしていました。パンツが見えないようにスパッツが流行ったほど！ゴム1つあれば1人でも遊べるので木にくくりつけたり、自転車にひっかけたりしていました。子どもに教えて一緒にしてみようかな〜まだできるかしら。
私は鹿児島県で九州の北海道といわれる小さな田舎町で生まれ育ちました。冬になると朝気温が氷点下になり近くのたんぼがカチンカチンに凍る時期があります。その時をねらってスケートまがいの遊びをした思い出があります。当然スケート靴などありませんから運動靴で滑りビショビショで帰り母に怒られた記憶があります。
私は昭和19年生まれです。テレビのない子どものころは、学校から帰ると車はほとんど通らない家の前の道路で缶蹴り遊び、石けり、兵隊ごっこ、陣取り遊び、めんこ遊び、相撲等々近所の子どもたちが数人集まると殆ど屋外で日の暮れるまで夢中になって遊んでいました。特にハマった遊びは無かったように思いますが強いて上げれば相撲でしょうか？ラジオから聞こえてくる大相撲も当時の力士の名前を名乗り合い夢中で遊んでいました。
子どもの頃ハマったのは、無料でコレクターになれる牛乳瓶のフタですね。メンコみたいに友達と闘ったり、珍しいフタは普通のフタ何枚と交換とか、色々楽しめました。地方によってフタが異なるため、転校で来た人なんかは、転校前の学校から取り寄せ人気者になったりしてました！ある意味、無料のリサイクル玩具でした。
小学校の頃、日本酒一升瓶の王冠を使ったおはじき。学校の机の上で相手の王冠をはじいて落とすともらえた。皆が希少価値の王冠を集めるのに躍起だった。放課後に酒屋さんによく通ったのが懐かしい。
自分の定規をペンで弾いて、相手の定規を戦場からはじき出す。戦場は机の上。「ジョギペン」しよげー、と友人と休み時間に遊んでいました。重い定規、弾きやすい定規、摩擦が大きい定規、弾きやすいペン、etc… 文房具本来の使用目的とは違う目線で文房具を探して回っていました(笑)。
小学校2年で初めて買ってもらったグローブとボール。現代みたいに少年野球のチームなどはなく近所に同年代の男の子もおらず、それでも上手になりたい一心から近くの倉庫に積んであった木材を的にしてピッチングの練習に明け暮れていた(小6まで続いた)。そのお陰かどうかはわからぬが会社に入って草野球を楽しんでいたが、結構、コントロールは良かった。
私の子どものころは何といってもチャンバラでした。赤堂鈴之助や鞍馬天狗などに夢中になりました。友達とチャンバラは毎日。近くの川に柳の木がたくさんあり、適当な太さ長さの枝を切ってきて刀をつくりました。鎌で削り、出来るだけ本物らしく作り、友達に自慢しチャンバラ遊びをしました。孫達はチャンバラに興味も無く、ゲーム機で格闘ゲームに夢中になっています。本当は孫とチャンバラ遊びをしたいのですが……。
杉鉄砲 団塊の世代の多くの方が遊んだと思いますが、春先にしか遊べないけど、杉の実(花粉が飛散する前の硬い実)を弾にして撃ちあって遊びました。遊び方は鉄砲本体は細い竹筒(内径2mmくらいで長さが10〜15cm)を銃身に、文具店で購入した竹ひご(銃身より5mm程短め)を撃鉄にします。杉の実がまだ硬いうちに採ってきたものを、口に含んで湿らせておきます。1つ目の湿らした実を竹筒に入れ竹ひごで押し込みます。2つ目の実を筒に少し入れ竹ひごの先を少し差し込み、発砲準備完了です。竹ひごをぐっと押し込むと中の空気が圧縮されて1つ目のみのはじき出されます。弾は3〜4m程飛びます。竹筒の中が湿っていたほうがよく飛ぶなどのノウハウが子どもなりにあって、近所の子どもたちが集まって毎日のように遊んでいました。今私は全く花粉症がないのは、遊んでる間は杉の実を口にたくさん含んでいた為だったのかなと思っています。
子どもの時は都心から離れた郊外に住んでいました。空き地が多く点在する中を小学生だった私は「くつつき虫」と呼んでいたオナモミの実を友達に付けあって遊ぶことがとても楽しかったです。家に帰ると背中にオナモミがびっしりと付いていた楽しい思い出があります。
ソリスベリ。しかも雪山からの滑走ではなく、川べりの土手を滑り降りるもの。川が凍結しているため、勢いで向こう岸の土手まで昇ってゆけるのが楽しくて。しかし春先いつものように遊んでいたら川の氷が割れてドボン！生きていてよかった。
歳の近い姉とよくオセロで遊んでいました！なぜか白だと負ける確率が高く、黒の取り合いでした笑 鍛えられたおかげで今ではだいぶ強くなりました。もちろん白でも勝てます!!
2月に霜柱が立ち、クシャクシャと踏み潰す音を聞くと、信州で生まれ育った私は、子どものころ『しみわり』をして遊んだ記憶が呼び覚まされます。『しみわり』とは、2月ごろの寒い朝、田んぼに降り積もった雪の表面は、薄く凍ります。ミシミシいわせながら、抜き足差し足して、その雪の上をより速くか、より速くまで渡れるかを競う遊びです。もちろん、足がすっぽりとその薄い氷を踏み抜いたら負けです。時には足が抜けなくて、友の助けが必要となり、友共々雪にまみれてしまうこともしばしばありました。
田舎だったのもあり、近所の子ども達で山や空き地で基地作りをしていました。自分達だけの秘密の場所を作れて子どもなりにすごく楽しかったです。今自分の子どもがそんなことをしようと思ってもそんな場所がないし、不審者情報等の社会情勢より大反対しそうです。
いとこの家は築100年を超える藁ぶき屋根の旧家。大きな庭でやる缶蹴りは時間を忘れるほどにはまりました。当時の屋敷は民家博物館に寄贈という話もありましたが、取り壊されてしまったそうです。
スーパーカー消しゴムをBOXYのボールペンで飛ばして相手の消しゴムを机から落としたり、どちらが遠くへ飛ばすか距離を競ったりして遊んでいました。ペンや消しゴムを改造したり色を塗ったり、集めたり、かなりハマりました。
秘密基地作り、タイムカプセルを埋める 林に枝とビニールで小屋を作った。大人になってもあの頃のワクワクは忘れられない。タイムカプセルは20年前、友達家の庭に、クッキー空缶に手紙を入れたのだけど、まだ掘りおこしていない。どうなったかなー。
子どものころ、ビー玉遊びに無中だったことを懐かしく思い出します。地面に描いた島のなかに、ばら撒いた赤、青、黄、緑で彩られたビー玉を鉄の親玉で島の外に弾き出す事で、そのビー玉を獲得するゲームですが、日が暮れるのも忘れて夢中で遊んだものでした。獲得したビー玉は少年の心には宝石の輝きでした。
現在もはまりっぱなしですが魚捕りです。琵琶湖にそそぐ野洲川の最上流地区に住んでいた6歳から10歳、父の影響を多に受けて時間が有れば川通り、春先のアマゴ釣りから始まり、川石に産み付けられたゴリの卵とり・サデと呼ばれる網や、ガラスをはった箱で水中を探し針で引っ掛けて捕る鮎、泥鰌やミミズを餌にはえ縄もどきのウナギの夜釣り、etc.、etc. 時間を忘れ親が呼び戻しに来るまで熱中したものです。今は専ら体力の温存できる船釣りですが…それもそろそろ卒業かな？と思う今日この頃ではあります。
こつくりさん。危ない、怖いと言いつつ、同じ組の仲のいい男女でやりました。昔のことかなと思っていましたが、今の子どもたちもやっているようで、ある意味、伝統のある怖い遊び？？と感じています。
小学校の頃スーパーカー消しゴムが流行り、ばねのプッシュ式ボールペンのプッシュ部分で後ろから押して友達と遊びました。机の上でぶつけあって落とし合いをしたり、筆箱でコースを作って速さを競ったりしたことを覚えています。
パーメン。10円玉サイズから直径10cm位のもあった記憶です。当時、10円？位で、5cm位の長さの束。銀行で小銭に両替して貰った時にもらえるような束で、買って、ロウで束になったものを1枚1枚はがして、遊びました。
小さい頃ハマった遊びは氷鬼。鬼になった人がタッチすると固まって動けなくなるという単純な遊びですが、逃げる時は全力疾走で本気の遊び。自分が鬼になった時に好きな人が混じっていたら、その人目掛けて猛ダッシュ。子どもながらに好きな人と少しスキンシップ出来るのが嬉しかったです。
小学校4年生の頃、泥をまん丸に丸めて直径4センチくらいのツヤ出しダンゴを作るのにハマりました。芯は相撲場の土俵の土が良いとか、次は砂場の砂で、その次は運動場の…とかレシビがいろいろありました。テッカテカに艶を出す名人でした。

<p>まだファミコンやゲームウォッチなどの専用ゲーム機が出る前に、ゲーム電卓が流行ったのを思い出しました。数字が攻めてくるのを打ち込んでやっつけるみたい。今考えると単純なものでしたが、ハマってよくやっていました。</p>
<p>近所に大きなみかんの大きな木がありました。友達と3mほどの高さの枝に縄で椅子型のネットを作り、樹上生活もどきをして楽しんだことが思い出されます。小学5・6年のころ。</p>
<p>ドミノ倒し。子どもの頃、年末のドミノ倒しの番組を観て親に買ってもらったドミノ倒しのおもちゃ。一人で部屋中に並べて仕掛けを考えたりしてとてもはまっていた。途中で倒れちゃった時の悔しさもありとても楽しかった思い出がある。</p>
<p>夏になるとセミのぬげがらを集めていました。誰が多く、大きいものを見つけることができるのか、そして集めたぬげがらを戦わせてグシャグシャにしていました。今考えるとぞっとします(笑)</p>
<p>今は売られていませんが、ジェニー人形とバービー人形(リカちゃんみたいな人形)で遊ぶのが大好きでした。妹はリカちゃん。よく姉妹で遊びました。私も親になり娘が生まれ、リカちゃん人形を買ってあげましたが、娘はほぼ遊ばず放置…。代わりに時々息子が遊んでいます…。</p>
<p>野球が大好きで、草野球のチームに所属したり、社会人で職場でチームを作ったりして45歳まで野球にはまっていた。社会人の時、巨人の大友投手が引退した後、大友投手の勤めていた会社のチームと試合したことが1つの思い出でもある。転属で野球環境がなくなり、以後は河川敷の草野球から高校野球・プロ野球の観戦が今も続いている。どういう訳か、学校の部活の野球部や会社の野球部には入らなかった。</p>
<p>とんぼ採り 小学校のころ『ぶりかん』と言って60cmくらいの糸の両端に小さい豆粒程度の石を結び付けて、それを飛んでいるヤンマに向けて投げヤンマをひっかけて捕まえる遊びをよくやりました。(ヤンマは石を虫と思いつき糸に絡まって落下する仕掛けです)</p>
<p>子どものころ、少ないお小遣いを貯めて買ったプラモデルを作ることに熱中していました。昔は、モーター付きの動くプラモデルが主流で車、戦車、戦艦など作ったことを思い出します。プラモデルを組み立てているときが一番楽しくて、最後に完成したものを動かす時が、楽しみのピークになります。次は、何を作ろうかな？お小遣いがたまるまで暫くは、そのことを考えるのが楽しみでした。昔の思い出です。</p>
<p>凧揚げ。主に冬の遊びだが自分で作った凧を雪の積もった田んぼで近所の友達と出来栄を競ったものです。私の得意は飛行機凧で竹を切ってくるころから始め、これを割った竹ひごで三角形の胴と主翼、尾翼の形を組み立て障子紙を貼り付けます。コツは全体のバランスをどう取るかで上がり方が違うのでトライアンドエラーの連続です。良い物が出来上がって風に乗って見えなくなるぐらい高く上がった時の達成感が何とも言えないよろこびでした。</p>
<p>私の子どものころとは、戦中・戦後のことになります。思い出せるのは、毎日毎日海岸へ行って磯遊びや夏は海水浴でした。磯遊びは貝や魚、海藻をとったりして家に持ち帰り、夕食のおかずになりました。夏の海水浴は海中の岩から岩へと波間に泳ぎ渡ることでした。ある日岩から元気よく飛び込んだら海中の岩に頭をぶつけ、びっくりして跳ね起きたら顔に血が流れてきて、さらにびっくり、あわてて家に帰りました。母は驚き近所のお医者さんに担ぎ込まれて、頭頂部のケガだけで済みました。</p>
<p>子どもの頃は鬼ごっこやかくれんぼ、ケイドロ、色鬼などとにかく身体を動かして遊ぶのが好きでした!! その反動か、今はとにかく動かたくない私……………(笑) 肥満一直線です(´^A(笑)</p>
<p>地蜘蛛の巣を抜くこと 家の日陰になっている外壁に、地蜘蛛の巣が出来ると、そーっと破れないように抜き取ります。それを2つ向かい合わせにして、地蜘蛛を巣から出して戦わせるっていう遊びをしました。妹と怖いものみたさでキャーキャー言いながらやりました(笑)今思えばかわいそう。</p>
<p>野球とローラーゲーム その頃、野球では巨人、ローラーゲームでは東京ボンバーズの試合をよくテレビでも見ている、友達ともよく夜遅くまで野球とローラーゲームをやりました。</p>
<p>子どもの頃は終戦直後で遊ぶものは少なくベゴマに夢中になり近所の子ども達と勝負をして数多く巻き上げ 正当な勝負の結果であったにもかかわらずその子どもたちの親から苦情を言われたことが多かった。子どもの頃の苦い思い出である。</p>
<p>ぼこぺん、達磨さんが転んだ、はないちもんめ、など、近所の子どもが数人集まって遊ぶ遊びをよくやっていましたね。輪ゴムをつなげて、長くしてゴムとびをしたり、大縄跳びで八の字跳び、ドッジボール、等々とにかく集まっているんな遊びをやっていました。今の子ども達がこんな遊びをしている姿は、ほとんどみかけなくなりましたね。</p>
<p>なんと言う遊びか思い出せないのですが小学生の頃にはまりました。土の上に2メートル四方の角と中央の5箇所に茶碗くらいの穴を掘り片手の親指と人差し指に挟んだビー玉を順番に弾き五つの穴を早く巡った人が勝ちと言う遊びを暗くなるまでやりました。なんと言う遊びかわかれば教えて下さい。</p>
<p>私の子どもの頃の遊びといえば、メンコ、ビーダマ、ベゴマでした。メンコは、相手のメンコを自分のメンコの投げ方などで裏返しにして自分のメンコの上に重ねる。ビーダマは2～3m先に有る相手のビーダマめがけて投げて当てる、ビーダマの内部もきれいな模様があった。ベゴマはバケツにシートを張って、紐で巻いたベゴマを投げ入れて相手のベゴマと衝突させシートの外に弾き飛ばす、できるだけ背丈の低いベゴマが強かった。などの記憶があり今思うとよくあんなに、今では難しそうな遊びをしたものだと思わず次第である。</p>
<p>風邪で学校を休んだとき限定で、天井の模様(木目調)でアミダくじをして遊ぶのにはまりました。寝るのに飽きたら必ずやりました。</p>
<p>近所の仲間たちと神社の境内で行うソフトボールです。昭和30年ころはプロ野球では特徴のあるスター選手が大勢いたので、スター選手のド派手なアクションの物まねをよくソフトボールの遊びの中で行っていました。</p>
<p>ベゴマです。樽の上にゴムシートを張り、4人くらいで一斉にダンジョンにベゴマを投げ入れ相手のコマをはじき出す遊び。やすりなどでベゴマの先端を削ってはじき出されなくて安定して回転し、相手のコマをはじき出すよう接触面を削った強いコマを作るため、研究していました。</p>
<p>水風船、噴水 アパートに住んでいた近所の友達とみんなで集まって夏場は毎日水風船をドッジボールのように投げあったり、水道の蛇口で噴水を作って、くぐって遊んだりしてました。やりすぎてアパートの水道が止められてしまいました(汗)</p>
<p>子どものころに女の子のあいだでゴム飛びが流行っていました。最低でも3人ないと出来ない遊びで、どうしてもない時は電柱やポールにかけていました。足首、ひざ、太ももと段階があつて上にいけばいくほど難しくなって間違えれば交代という遊びでした。学校が終わってから毎日やっていた記憶があります。</p>
<p>模型にはまってました、地方なので、店頭にあるものからむさぼるように買ってましたねえ… 同類の見分け方として、爪に塗料の跡があるのを探す、ですね。指とかの皮膚についた塗料は一晩すると殆ど落ちますが、硬い爪に付いた塗料は何日も落ちなかったもので…(^^)</p>
<p>小学生の頃、定規戦争と呼ばれる遊びがブームでした。ペンで弾いた定規同士をぶつけて机の上から落とす遊びで、ブームの末期には定規に蠟を塗って滑りを良くする者、何本もの定規とペンから最強の組み合わせを検討した者、異常なまでの熱意を持って取り組んでいましたねw</p>
<p>図工の時間が大好きな子どもでした。とにかく何か作るのが好きでした。家に帰ってからもビーズブレスレットや、ダンボールで小さな家、大きな入れる家、色紙でお花などを作っていました。今でもハンドメイドをしています。</p>
<p>近所の下級生に勉強を教える先生ごっこをよくしていたら、面倒臭い(朝ドラの) おしんみたいだね!!と言われていました。今では小学校現場にいる教員の職に携わっています(笑)</p>
<p>中学生の頃、周りの友達みんなはファミコンを持っていましたが、メカ好きの私はファミコンを持たず(持てず?)、電動バギーのラジコンで遊んでメンテナンスやカスタマイズのために分解して組み立てることを繰り返していました。おかげでエンジニアになってからもその経験が役立っています。</p>
<p>自転車で遠く遠く。昔は車も少なかったので冒険気分立ち乗りでぐんぐんこいで、遊んでました。原っぱをつっぱして春はバツをけちらかし、秋は赤トンボの大群を追いかけ。楽しかったです。</p>
<p>今から約40年以上も昔の小学校の頃、初めてテレビゲームをしました。当時はピンポンや射撃などのテーブルゲームができる程度のものでしたが、はまりました。今では映像、音響も当時に比べてド迫力で本当に時代の変化を感じます。今の子ども達が当時のゲームをしたらとても物足りないでしょうね。</p>
<p>森の中でのターザンごっこ 小学校からの帰り道に森があり、毎日のように遊びました。秘密基地を枯れ木や葉っぱで作ったり、木から伸びてるツルを使ってターザン遊びしたり。今思えば、よくツルが切れなかったと思います。</p>
<p>家の前の道路にチョークで絵を描いたり、石けりやかかしをして遊びました。当時はどの道路にもそんな遊んだ跡が残っていたのですが、最近は見えないですね。道路で遊ばないのか？危なくて遊べないのか？遊びの事情も様変わりしていますね。</p>
<p>こどもの頃はすでにゲーム機もあったが、よく外で遊んでいた。今ではできない(相当怒られる)が、大きな団地でやるケードロは楽しかった。犯人チームが結局見つからずに途中で帰ったこともあった。</p>
<p>今じゃできないボール遊び ボールを家の屋根の上に投げて、落ちてくるまでの何秒間にボールを受け止める友達を指名、誰かがボールを落とすまでこれを続けます。田舎だからできた遊びです。</p>
<p>中学1年生ではありましたが「ながうま」を男女入り混じって昼休みに学校でやりました。女子はブルマを制服の下に履き、一応女子のお尻に男子が頭を突っ込むのはナシということで、馬になる方は振り落としにかかるし、楽しかったです。</p>
<p>(車のカタログ収集) 中学生で車の免許も無いのに、車のディーラーを休みの日に回り、カタログを集めて友達と見せ合って楽しんでいました。今でもそのカタログが残っていれば、高価で売れたかも？残念です。</p>
<p>家の裏にテントを張ってキャンプごっこをするのが好きでした。懐中電灯をつるしたり、マンガを持ち込んだり。父がお茶とおにぎりを持って遊びに来てくれたこともあります。</p>
<p>中学2年の頃無線通信に興味を持ち、部活の同級生と無線材を自作して、どの範囲まで届くか競争したことを思い出します。それが大人になって電子系の会社に就職することにつながりました。</p>
<p>カメやメダカなどの小さな生きものを飼うのが好きでした。カメはにおうので、きれい好きな姉に、逃がせばお小遣いをあげると言われ、不本意ながら捨ててお小遣いをもらいました。</p>
<p>「ヤンマ捕り」戦後東京都心の話です。自分で作ったトリユと呼ばれていた道具を使います。夕方にギンとかチャンとかいうヤンマが群れになってネグラに戻って来る通り道の上空に投げ上げます。餌と勘違いし喰いつき、投げ糸にからまりながら地面に落ちてきたところを捕まえます。小学生の夏休み中、夢中になった思い出の遊びです。</p>
<p>メンコです。地方では紙ペタンともいいました。風のふじ丸や鉄人28号、赤銅鈴之介等のまんがヒーローが貼ってあり、相手のメンコが欲しくて欲しくて暗くなるまで遊んでいたものです。</p>
<p>小学校高学年の時、やっぱり定番交換日記をやっていました。好きな色やテレビのこと、他愛ないことでしたが、すごくドキドキしながら交換していたことを思い出します。</p>
<p>東北生まれの為、冬になると夢中になった遊びはやはりスキーでした。特にスキージャンプすることが好きで、友達と手作り特設ジャンプ台から飛んだ距離を競いあったことが思い出ですね。因みに小学生(校内の)大会で1位獲った事ですかね！飛距離10mです。今60代となつてはとも出来ませんけど…！</p>
<p>私は60代女性ですが、子ども(小学校低学年)の頃道路を歩いて手に取れる葉を笛にして鳴らしていました。孫がまもなく生まれます。是非教えたいですね。</p>
<p>夏休みに両親にどこにも連れて行ってもらえず、庭にテントをはって暮らしていた。夜になると虫の音がするテントで弟と寝ていた。庭なのに何だかうれしかったのが懐かしいです。</p>
<p>チャンバラごっこ。捕虜を一人木にしぼって忘れ帰る”行方不明”。目玉が飛び出るほど叱られたなー！！</p>
<p>粘土を平らに敷いて、その上にミニカーを走らせ、道路の轍を再現することにはまっていました。ミニカーが粘土だらけになり、親には怒られました。。。</p>
<p>ジャングルジムでのオニゴッコです。夢中になって遊ぶうち足をすべらせ、アツと思ったらマタにバーをはさんであまりの痛さに泣いていました。すぐ近くの家からオバアサンが出てきて、困った顔で大事な所にまっ赤な赤チンをぬってくれました。</p>
<p>海の近くに住んでいたため、テラポットの下にお気に入りの場所を見付け「基地ごっこ」をしていました。夏には、たこ糸と貝を使ってカニとりをしました。観光で来た人に、すごいと言われ、子ども心に自慢でした。</p>

ミニ四駆への情熱 小学校が終わったら、走って家に帰り、ミニ四駆を持って近くの公園に友達と集まって遊んでました。ほぼ毎日、ミニ四駆を早く走らせることを考えていたので、今考えるとすごいことだと思いました。
ファミコン。ドラクエなどクリアできるまで夜な夜な1人でテレビの音量を下げてまっ暗にしてプレイしていました。もちろん次の日の授業は爆睡でした。
家の近くに広い雑木林があり、そこで夏はほぼ毎日くわがた獲り。その近くに小さめの雑木林も有る。そこでは秘密基地を作り、自分と友達の世界に入り込み楽しかった日々を思い出します。自分の子どもにも体験させたかったが今は住宅街。
ブランコをこいで、一番高い位置になった時点で、ブランコの上にしゃがみ、前方へ行った瞬間に飛んで、その距離を比べっこした。(小学生の頃)
子どものころ、はまった遊びは「カンケリ」思い切り缶をけとばした時を合図にくもの子をちらすように思い思いのところにかくれる私たち。鬼は必死にさがしまわり、1人ずつ見つかる。なかなか見つからない私たちはいつまた缶をけりに突進していこうか、ずっとドキドキしながら鬼の行方を見つめる。でもあまりに見つからないとわざと見つかりやすいように動いてみたり....今もやりたい！大人の缶けり！！
周囲はのどかな田舎風景、昭和20年生まれの子どもの頃を顧みれば、遊びは三角ベース野球、木登り、ザリガニ釣り、川遊び、チャンバラ、駒まわし、学校から帰ればすぐ遊ぶ、勉強意欲はまるで無く受験失敗。父親が恐くてその日に家出。親の心知らず勝手気ままの少年時代でありました。天の親に御免なさいです。
今やスマートフォンが主流(?)のポケモンにはまっていました。初代のゲームボーイで楽しんでいたのですが、街中でモンスターボールを投げるができるようになるとは。
メンコ遊び(香川県では”ばっちゃん”と言っていました。)絵柄もその時代に流行っていたキャラクターで強そうなものをコレクターしたものです。コーヒー牛乳瓶のフタも絵を画いたりして、使ったりもしたものです。
昭和25~30年家にテレビがない頃、たき火あとや道端であか(銅線)をさがして、売って小遣いにしてた。お金もない時期なので見つかる嬉しかった。今思えば遊びではなく、深刻だったかも知れない。
「人生ゲーム」子どものころに、大人になると色々なことがあることを知りました。
私は60代ですが、小学校3年生か4年生頃か？フラフープとなわとびに一時はまった事があり、特になわとびでは、二重とびの100回以上継続でとべた時は、とてもうれしかった思い出があります。
三角ベース。ゴム毬を使って手の平で打つ野球です。グローブもバットも要らないのでいつでもどこでも出来ました。モノが無い時代に近所の子ども達と日が暮れるまでやっていました。
小学生の頃、お昼休みにクラスのみんなでドッジボールをするのが流行りました。食べるのが遅かった僕はいつも最後の方で登場し、みんなの応援をうけてヒーローになれた。大人になってもまたやりたいなあ。
東北の田舎育ちでした。決まった遊び道具もなく、何かを考えたのが友達とリヤカーを2台合体させて坂道得意のハンドルさばきで下る。スピード感がたまらなかった。
[杉の実鉄砲]子どもの頃、疎開先の田舎の裏山には篠竹が繁茂していました。この一節を切りとり、芯に竹ヒゴを入れて刀のような鞘に杉の実(杉花粉を飛ばす前)を押しこみ、2発目の実を入れて竹ヒゴを押しこむと一発目の杉の実がパチンと音をたてて飛び出すのです。台に置いたドングリを狙って当てる遊びに夢中になったおかげで、杉花粉には耐性があります。
ゲームもおもちゃも買うこともおねだりも難しい時代でした。手作りのつり竿で魚つったり、野苺とりにいったり工夫しながら毎日楽しく遊んだことがなつかしいです。
学校から帰ると直ぐ玄関にカバンを投げて友達とパッチンが無中にしたことを思い出す。(カードの取り合い)※パッチンとはカードに映画俳優&野球の選手がカードにはってあるもの
ツイスターゲームです。家族や友だちと室内でできる遊びとして楽しんでました。体をよじらせながら手を伸ばしたり足を伸ばしたり、おもしろかったです。
町全体を使ったかくれんぼ。鬼が3人チームを組み、丸一日をかけて遊んだ。時間がかかるのでかくれている内によく眠ってしまった。
ケイドロ 小学校高学年の時、クラスメイトのほぼ全員で休み時間のたびにやっていました。好きな子と同じグループになった時はがぜん張り切りました！
友達とのシール交換にはまっていました。シール帳にシールを貼って友達と見せあいつこして、気に入ったのがあったら交換して遊んでいました。近所の子どもたちは、自分が引越してしまっで連絡もしていないけど元気にしてると良いなあ。
「ミルク飲み人形での着せ替え遊び」人形遊びが大好きだった。当時売り出されたミルク飲み人形を買ってもらい、友達と毎日のように遊んだ。お母さんが器用で人形の洋服やふとんを次々に作ってもらう友達がとても羨ましかった。
木登りです。小学生時代は終戦直後でオモチャ等何も無く、近所の畑にあるカシの木に友達と毎日登って遊びました。昨年久し振りに帰京しましたが、木はなくなり畑は住宅街に変わってました。
田舎で育った私は、自然豊かな中で幼少から小学生の頃迄は年令に関係なく男女共外で遊び、自然にふれあう楽しい日々でした。現在の子は家にこもり、ストレスのある日々は悲しい。
子どもの頃は、野球ばかりしていた。近所は子どもが多く、自然に人が集まって人数が少なくとも三角ベースボールとか一打席だけの勝負とか。今は空き地もなく、子どもも少ないので全く見なくなりました。すべてユニフォーム着たチーム単位。
小学校4年生だった1959年3月、少年サンデー(30円)と少年マガジン(40円)が創刊され、兄達や友達と回し読みしました。同じ市内(兵庫県宝塚市)に手塚治虫氏が24歳まで住んでおられたこともあり熱烈なファンでした。今日の日本アニメの隆盛を見て感無量です。
子どもの頃を思い出してみた。夏は水に関係ある水泳、魚釣り、魚取り、冬は日向を求めてビー玉、ベーゴマ、メンコ、釘内、竹馬更に芝すべりなど数えきれない程沢山あった。その中でも芝すべりは特に面白かった。堤防の傾斜を利用して尻に段ボール紙を敷き滑り下る遊び。途中ですり込んで頭や顔にケガをしたり、ズボンをやぶり親にしかられた事を思い出す。楽しかったあの頃がなつかしい。
小学生の頃、休み時間、放課後あきもせず男女まざってドロジュン(ドロケイ)ばかりやって毎日走りまわってました。なんであんなに楽しかったのかなあ...と思うが、TVで大人がああの遊びの進化形をやって大人でも楽しいんだから子どもは楽しいと納得(笑)
子どものころからインドア派で物を作ったり、おもちゃを作ったりしておりました。地区の子どもを集めて工作教室を始めはや17年目となりました。
小刀一本を使った今でいう木工細工 釣りに使うウキ、タモ網の木の部分、野球のバット作りなど左手親指、人差し指はいつも傷だらけ。今でもかすかに残る切り傷を見ては木工細工に明け暮れていた子どもの頃を思い出します。
総手作りの釣の思い出 小学生の時友人達と小川で日暮迄夢中で釣をしました。竿と浮きはササ竹、糸は校庭の横にいた青い幼虫です。その腸を酢に浸すと丈夫な白い糸ができます。餌はキャベツにいる青虫や堆肥の中のミミズです。後年、司馬さんの本の中にてぐす(糸)の作り方が中国から伝わりその方法が全く一緒だったので感動しました。(本は「街道をゆく」です。)
子どものころはまった遊びは「人生ゲーム」です。ゲームの中ではお金持ちになったり、家を建てたりいろいろ夢を見ましたが、現実とは...人生ゲームのようにはいかない。人生を歩んでいます。(泣)
小学生時代、男女3人以上集まれば「馬乗り」で遊んだ。壁際に馬首後が立ち、その前に馬の背後が上半身曲げ、乗手が跳び乗り、馬首とジャンケンし敗ければ後が変わり楽しむ。体力作りに功を奏した。
かまきりの綱わり 友人と昆虫のサーカス団をつくろうと訓練していましたが、ある日、卵を産んでカゴの目から赤ちゃんが出てしまい、台所にかまきりの群団が！家族みんなに怒られました。
あまり遊び道具などもないので川で魚釣りをしたり、夜もカンテラを下げて寝ている魚をついてみたりしましたね。今頃はカジカの卵をとってました。
小学生の時はいろはかるたを全部おぼえた。今は健康マージャンで呆け防止に努めている。
幼き頃、おままごとにはまっていた自分は強気なパパを演じていました。今では嫁の尻に敷かれる弱気な旦那です。昔の自分に言いたい。将来亭主閣白は流行らないぞ。
あまり良い事ではありませんが、工事現場や資材置き場で「かくれんぼ」や「秘密の基地」と称して自分たちの場所にして一日中遊んでいました。作業場の人に見つかり叱られたりしましたが貴重な経験でした。
子ども時代を振り返ると親の手造りオモチャが多かった。夢中にさせた遊びは'ベーゴマ' 鑄物で造られた重みのあるコマで勝負ゴマを造るため角をつくったり当り面を強くし夕暮れまで夢中で遊んだことこんな遊びのなかで育まれた友情の輪は今もつづいている。未来ある子ども達へ'強い友情を育め' イジメなどない子ども時代を！
今から50数年前の私の子どもの頃、山合いの溜池での釣に熱中しました。釣り道具は、当時小遣いが少ないため可能な限り身の廻りにある物(竿は細い竹、餌はミミズ、釣糸は縫糸他)を工夫し、どうしても代用不可な釣針のみ買い十分に楽しむことができました。
何といってもプラモデル戦車、お城。当時としてはかなり高価なもの有り、特にマブチモーター使用品などはお正月しか買えませんでしたね
今でも忘れられないのは小学校1年生の時、学校のブランコにお腹をつけて「ピーターパンごっこ」をしたこと。主人公のピーターパン、かわいいウェンディ、自在に飛べるティンカーベルなどになりきり、空を飛んでいるかのように楽しい気分になりました。
ドロケイ(マンション1棟使って多人数でやっていました。廊下を走っていたのでよく怒られました。)、Sケン(私の地元でしかないのかなあ？(東大和市)小学生の時、休み時間にクラス全員で遊んでいました。ケガ人が多く出て、Sケン禁止になったのを覚えています。)、カンケリ
人生ゲーム！昔からある定番ゲームですが、姉と妹とよく遊んでいました。誰が銀行屋さん(お金管理する人)をやるかでよくモメてました。大人になって久しぶりに遊ぶと、これまた本気になっちゃうんですね。一発逆転が楽しい！！
仲良しの友達や、クラスの友達と自分が持っているものを、交換するんです。例えば、動物の形になった消しゴム。レターセットの紙。シール。など。手紙の封筒の中に入れて、お互いに交換していました。毎回、ワクワクして楽しかったです。
小学生の頃、休み時間になると運動場に出てハリツケ(ドッチボールの線のないもの)をしました。つき指しながらも、やっつけたりやられたりとても楽しかった。今私の指が太く短いのはそのせいかも
子どものころの遊びは小鳥を飼うことでした。小鳥は野鳥(めじろ・やまがち・うそ)です。今では野鳥を飼うことは禁止されています。子どもの頃はわからないのでやっていました。ただ飼うだけでなく山へめじろを取りに行きます。山へ早朝出かけ、「おとり」「とりもち」持参で、おとりが鳴くと近くに居るめじろが寄って来て、とりもちのついた棒にかかります。飛んでまためじろがとりもちのついた棒に来ないかドキドキしながらの時が忘れられない。
小学2~3年生の時、ザリガニ採りにはまってきました。いわゆる下水道(田舎なので田んぼの近く)に入って行って、虫とりのアミでガンガン採りました。エサ等付けずに手で採るのですが、ハサまれた日は、そりゃもう泣くほど痛かったのを憶えています。(50才を過ぎた今でも)
終戦後の昭和の時代は、遊びと云えば、野や山もかけ回り、川で魚をとり、おやつも畑のトマトやキュウリ、イチゴなど。花粉症なんてなかったのか、スギ鉄砲をつくり遊んだが、今の時代、花粉症やらゲームに夢中で、外で遊んでる子どもをみかけない。時代の流れか。
父が帰宅したときに、母と兄と私の3人で、かくれておどかして「おかえりなさい」を言うこと。(実際は兄も私もクスクス笑って、かくれている場所はまる分かりだったようですが。)私の息子も1才になり、もう少し大きくなったら同じようにかくれんぼの「おかえりなさい」をしたいです。
缶蹴り 神社や空地で缶ケリにはまった事が懐かしい。鬼のスキを衝いて思い切り缶をケリ、捕虜を解放する様子が気持ちよく、たくたになるまで遊んだ。健康の源はここから始っていたかも。
ビーダマ遊び、ビーダマを入れる袋を母に作ってもらいいつも持ち歩いていた。今では簡単に安く手に入れることができるが、当時はそうもいかず特に色のきれいなものや大きなものは宝物のようで友達との遊びもとったりとられたりするので必死でした。
自分達の時代には、ゲーム機、TV、パソコン等など、学校から帰ってきた時や休日も部屋内にはいませんでした。自分達で山から材料をとってきて「紙テッポウ」「スギテッポウ」「紙ピストンテッポウ」など自分達自身で加工して出来高を比較して技術向上を競っていました。友達・先輩達とも「いじめ」もなく仲良く遊んでいました。夕方暗くなって帰宅しても親も心配しませんでした。幸せでしたね!!

<p>子どものころは「ゴム飛び」が好きで自分で色とりどりの輪ゴムできれいに作り、一重だとゴムが切れやすいので、二重になるよう工夫したり、ゴムからこだわりました。スカートの子はブルマの中にスカートの裾を入れ、足が高く上げられるようにしました。私は「女の子飛び」と言っていた飛び方が得意で、頭の上の位置でも簡単に飛べました。</p>
<p>子どもの頃やっていた手遊びで「お寺のお尚さんが〜♪」というのをよくやっていたのですが、先日姪っ子が来て一緒にやったら「～忍法使って空飛んで、”東京タワーにぶつかって”、テレビの前で～」と歌っていました。私のときは”東京タワーに～”はなく、ビックリして12才離れた妹に聞いたら、妹は”電信柱にぶつかって”と歌っていました！時代は変わるものですね。</p>
<p>蟻を水の入ったバケツに入れ泳がす遊び。今から思えば残酷だったと反省しています。しかし保育の仕事をしていて、3歳の男児が同じことをしていました。もう一人の男児は砂なのですが・・・その子はなぜか水の中に・・・先生という立場上「蟻さんかわいそうだから土の中に入れるようにしたら！？」と提案するのですが・・・そういう時期ってありますよね！？</p>
<p>秘密基地 学校の裏山は子ども達の遊び場でした。中でも基地をつくり、「探検ごっこ」をしたことは思い出に残っています。今のキャンプ好きの原点ともいえます。</p>
<p>なんと言ってもターザンごっこ。山里育ちなので、つるにぶらさがり宙を舞った？気分を味わっていました。</p>
<p>友人と近所の駄菓子屋に行くのがとても楽しみでした。クジを引いて当たりが出るかドキドキしながら引いた思い出があります。懐かしい思い出です。</p>
<p>小学生の頃はまった遊びにフーフーフーがありよく遊びました。その頃は本物(プラスチック製)が買えず竹のタガで作った代用品でしたが一日中遊んでいました。(後に腸ねん転になるといわれやめました。残念)</p>
<p>3人でできるドッジボール、その名も「サンド」AとCがボールをなげてBにあてようとする。Bは逃げる。例えばAがBをあてたら、交替。次はAが逃げる番になる。エンドレスで夕方暗くなるまで友達と遊びつづけた。通り道で友達が遊んでいると途中から参加したりしていた。</p>
<p>小学生の頃は木を削り手作りのコマを作って回る時間を競って遊びました。昨今は自分で作って遊ぶ機会が減り、物作り日本の根幹が薄れて来ている様に思います。</p>
<p>爆竹(バクチク)今では考えられませんが、小学生高学年のときに、近所の友達と遊びました。田舎だったからなのか、近所から怒られることはなかったです。</p>
<p>ローラースケートです。今では考えられませんが、子どものころ、町中を走っている軽トラックの荷台につかまって走っていました。</p>
<p>日本酒等の一升瓶の蓋集め。その蓋で、メンコみたいなのをやり、勝つと相手の蓋をもらえた。色々な酒屋に行ってもらったのだが、部屋中お酒くさいと家族から苦情がすごかった。</p>
<p>私のはまった遊びは三角ベースの野球です。小学生のころ毎日友達とプレーしていました。とにかく野球にはまり人生が野球中心でした。小・中・高校・社会人・55才迄現役でハッスルしていました。なつかしいです。</p>
<p>子どもの頃はまった遊びといえば・・・お人形遊び、一輪車です。とくに一輪車は、学校の休み時間、クラブ活動、書道などの習い事へも一輪車で移動していました。バランス感覚は、一輪車で養われたのかもかもしれません！！</p>
<p>当時テレビマンガ、アタックNO.1がはやっており、姉とボールをふうせんで代用し、家の中でアタックNO.1の練習ごっこを汗だくになりながら夢中でやったのを憶えています。</p>
<p>昔、春になると遠くの田んぼへ遊びに行き、小さなかえるを入れ物いっぱいに取り帰って家の廊下に離し母がキヤーキヤー逃げ回っていた事。今はかえるの声も聞こえず懐かしい思い出です。</p>
<p>田舎育ちだったので小学校の頃は遊びでドジョウやザリガニをとってそれを売って自分の小遣いにしていました。</p>
<p>子どもの頃はまった遊び「かくれんぼ」家の中でも外でもよくやりました。自分が鬼になった時、なかなか見つからなくて、一人で家に帰ってしまい、翌日友達におこられたりしました。また、かくれる場所を移動するといったズルをして、鬼に帰られてしまい、いつまでも見つけてもらえなかった事も。見つかるかも！！というスリルが子ども心に楽しかったのでしょう。</p>
<p>小学校4～5年生の頃、空き地に数本、高さが10mを越える椎の木があった。その中段枝に仲間と廃材を運び隠れ家を作り、オヤツやマンガの本を持ち寄り遊んだ。当時、男児は木登りが流行っていた。今、思うと危険極まりの遊びであった。</p>
<p>近所の森を散策する事です。ザリガニを釣ったり、蛇を見つかけたり、時にはエメラルドグリーン色をした石を見つかけたり。とてもワクワクした思い出があります。今でも実家へ帰ると蛇を探してしまいます。</p>
<p>レーシングカー：中学一年くらいだったと思うが小さいタイプで1/72、それから、本格的な1/24スケールへ年令とともに大きくなっていった。又最近はやっているのだろうか、風のうわさで聞いている。</p>
<p>大人になっても変わらず・・・ビーダマンというオモチャにはまっていた。カスタマイズをしてビーダマを飛ばす距離を競い合っていました。今はSEとして、ハードディスクをカスタマイズすることにハマっています。思えば子どものころからカスタマイズが好きだったなあ・・・と感じます。</p>
<p>どろ団子を作り、誰にもとられないようマンホールに隠していたがある日きちんとフタを開けずにとってしまい指を骨折してしまいう程はまってきました。(笑)</p>
<p>子どものころ、ドッジボールにはまった。肩は強い方でボールの受け方も得意だった。自分のチームが劣勢でも最後の1人になってそこから挽回したりしたら、いつの間にか四天王の一人とまで言われるようになった。</p>
<p>一番はまったのは「缶蹴り」。毎日こりずに暗くなるまでやりました。今は近所の子ども達が集まって遊ぶなんてこともなくなってしまったかも。さびしいです。鬼を抜けられなくて泣く子もいたけど、今は”いじめ”ってことになっちゃうのかな？いやですね。</p>
<p>子どものころ、はまった遊びは”ザリガニつり”です。するめいかを糸の先につけて岩の間に落とすと面白いくらいよくつれます。今は自然が少ないから出来ないかな？</p>
<p>父の仕事の関係で集合住宅の社宅に住んでいました。多くの小学生がいて、毎日の様に「はさみっこ」をしました。離れた2つの円(直径3m程)の間を、行ったり来たりする子どもに2人の鬼がソフトビニールのボールをキャッチボールしながら当てます。当たった子どもは鬼を交替。暗くなるまで、夕食になるまで、やっていたのを思い出します。</p>
<p>川いかだの作成(竹を集めて、くくりました。)竹が不足しており2～3人共に、ヒザ下まで沈みました。楽しかった子どもの思い出です。</p>
<p>地方により、子どもの遊びは特色がありますが、北九州で「中とり」と呼ばれる不思議な遊びがありました。他にも「Sケン」「コツワ」等の他では見ないことがたくさんあり、良き思い出です。</p>
<p>祖母と一緒にした、おはじきです。共働きたったのですが、祖母が毎日おはじきで遊んでくれたので、私は悲しい思いをせずに子どもの頃を過ごす事ができました。</p>
<p>クルマやキン肉マン、ガンダムのけしゴム集め。ビックリマンシールやなめネコグッズを集めてました。農家などお金持ちの家の子はほぼ全てを持っていて、人気のあるキャラクターをザコキャラと交換してもらうために熱心に交渉していました。小さいながらにトレードの方法を学んでいた気がします。</p>
<p>①鬼が家に訪ねてくる②「トントン」(鬼)③「何の音？」(鬼以外)④「ブランコが揺れた音」(鬼)④「ああ～よかった」(鬼以外)⑥鬼が「お化けの音！」と答えると、みんな一勢に「キヤーツ！」と悲鳴を上げて逃げる。鬼ごっこだけど、何故かお化けが出てくる遊び。</p>
<p>両親共働きたったので日中はひとり遊びばかりでした。ペランダに布団を干している所で、マイク片手にアイドル歌手になりきって歌っていました。あの頃は布団で声も”見えてない”つもりでした。</p>
<p>魚とりが大好きで、川で小魚をつかまえて、近所で飼育していた比内鶏やブロイラーに与えていました。今では魚とりをしている子どもも見かけなくなりました。</p>
<p>ペーゴマです。近所に米軍基地があり、米国にはおもしろい遊びがあるなと思ったら、日本発生のこのことでした。</p>
<p>小学校の間は近所にもお姉さん、お兄さんがたくさんいたので、陣取り合戦や石けり、ゴムとび、ビーダマ、メンコ、着せかえ人形、先生ゴッコ最近みたこともないですが、よ～く日がくれる迄ワイワイ遊んでました。「ごはんよ～」と呼びにくる迄？くらくなるまで？頭も体も使ってた。</p>
<p>今から30年ほど前、私が幼稚園児だった頃にシンデレラや白雪姫に憧れ、お姫様ごっこにはまっていました。フリフリのレースがついた長めの肌着は当時「シミーズ」という名で、私にとってはお気に入りのドレスでした。そんな肌着一枚のシミーズ姿でお出掛けしたいと言って母を困らせていたことを、懐かしく思います。</p>
<p>小学生の頃ゴムを動力とした模型飛行機作りにはまりました。いつもの様に小学校のグラウンドで飛ばした所何と飛びすぎて二階建校舎の屋根の上へ。回収出来ずこまってしまいました。</p>
<p>私が小学生の頃、夏休みになると川で魚とりや虫あみを持って昆虫採集をしていました。父に図鑑を買ってもらい、魚や昆虫の名前を夢中になって調べていました。</p>
<p>回りは山ばかりの所で育った子どものころ、近所の友だちと山の中でお気に入りの場所を見つけ秘密基地のようにして天気の良い日は毎日のように遊び回ったことを山ツツジの色と共に思い出します。</p>
<p>子どものころ会社の社宅にいたので、子ども同士又は大人とよくパンポンをして遊びました。板が大きかったので両手でもってやったのを思い出します。</p>
<p>今頃は、土筆(つくし)をとっておかずの一品にしていました。野(菜)草は芹(せり)やのびろなど家族を喜ばせる事にもはりきって毎日遊びながらはまっていました。</p>
<p>小学生の頃近所にある女学校の管理人さんの息子と友だちでした。校庭に大きな木があり、毎日友だちとその木に登り、基地のようにして遊びました。楽しかった！！あの頃は誰でも自由に学校に出入りできるのどかない時代でした。</p>
<p>小学校中学校の頃は自転車がよく遠出していました。今まで見たことのない新しい世界が発見でき、当時ワクワクしたものです。今ではすっかりインドア生活ですが(笑)</p>
<p>貧乏くらしでしたから、はまっていたままごとはもっぱら紙人形が主役です。きれいな空箱をためて、いくつも並べ、広いお屋敷に見立て、いつもはきかん坊の友達と私はそれはそれは上品なお嬢様になり切っていました。未だ実現はできていません。アハハハ・・・</p>
<p>マンホールの上に白い大きな紙をのせ、先が丸くなったえんぴつで塗りつぶす遊び。友人と色々な柄のマンホールの絵を集めて見せ合いっこしてました。</p>
<p>小学生の頃、通学路の途中にある居酒屋さんから不要な酒ぶたをもらいコレクションして、みんなでまわして誰が一番長くまわっているか競っていました。</p>
<p>木の上に縄でクモの巣状の陣地を作り、近所の悪ガキ共と一緒に寝ころんだりしてました。ゴリラかチンパンジーの寝床と一緒にですね。知能程度も似たようなものだったのでしょう。近所の大人もあまり安全性について気にしてなかった様です。</p>
<p>紙でできた着せかえ人形が大好きで、自分で絵をかくて自作ドレスを作るくらいにはまってました。子どもが小さい頃、まだ売っているのを見て、「なつかしい～！」と思って買ったのですが、ちょっと遊んだらあきてしまっって・・・まわりのお友だちは皆電子おもちゃ(たまごっちなど)で遊んでいたの物足りなかつたのかも・・・。ちょっとさびしい出来事でした。</p>
<p>小学生のころ、お菓子屋さんで憧れて、よくお菓子を作っていました。シュークリームを作った後、粉糖をかけて飾りかかったのですが分からず、小麦粉をふるいにかけて、台無しに・・・見た目はパッチリだったのですが！楽しい思い出です。</p>
<p>こっくりさん・・・思えば、あれは何だったのでしょうか。誰かが無意識に動かしていたのでしょうか。ふと思い出してしまいました。</p>
<p>木の上に丸太を組立てワラで屋根を作り干柿やふかしたさつまいも、お菓子等を5人で持ち寄り、学校から帰ると木に登り冬以外は遊んでいました。藤の皮でハンゴも作りました。なつかしいです。</p>
<p>ちょうどTVゲームが流行しだした頃でしたが、よく缶ケリをした覚えがあります。今の子どもたちが安心して外で遊べる世の中になってほしいです。</p>
<p>小さなビリヤードが自宅にあり、ルールもわからず遊んでいました。よくわからないものの楽しく毎日遊んでいるうちにこわしてしまいました。父に大変叱られました。</p>
<p>ミニ四駆 最近再会してしまっった。</p>
<p>・TVゲーム・子どものころに流行しはじめました。寝ても覚めてもTVゲームにはまってしまいました。そして息子も同じようにはまっています。今になって親の気持ちがよくわかります。だと言えません。</p>
<p>子どものころは、主に外での遊びにはまりました。秘密基地をいくつも作って子ども達だけの休憩の場所にしていました。給食で欠席児童のパンを持ち帰って秘密基地にためていたり、親には見せたくないテストプリントを隠したり、楽しかったです。そんな秘密のことをしている自分が当時は大きく感じました。</p>
<p>コップを口にあてて、中を真空状態になるまで空気を吸い、手をはなしても落ちないか、という遊びが好きでした。ある日、取れなくなって親に取ってもらおうと丸く色が変わり、まるでヒゲのよう・・・。その後習い事に行き、笑われました(笑)</p>

ひみつのあっこちゃんのコンパクトでよく遊んでいました。たまに夜中に誤作動してメロディーが流れたり、しゃべったり・・・とても怖かった記憶があります。
(警察ゴッコ)小さな町でしたが、子どもが多勢で、警察と泥棒に分かれ町中で追いかけて、追われて走り廻りました。泥棒は警察につかまると、近くの電柱にしばられ、朝つかまると夕方までそのままでした。大人は誰も助けてはくれない決まりでした。
子どものころ、はまった遊び 大流行したたまごっち！！夜も寝ずに成長させてました。ちょっと油断するとうちまみれで死んでた。(泣)
冒険ごっこでしょうか。たんぽに大きな水たまりが出来ればイカダ風に舟のようなものをつくりこいでみたり、近くの雑木林に秘密基地を作ったりしたものです。そして人が入れるくらいのコンクリートの土管に入ったりして遊んだものです。
小学生のころ、とにかく鬼ごっこにはまりました。街全体をつかい、エリアを区切った上で、広い範囲で鬼ごっこをしました。(現在のテレビ「逃走中」のようなものです)これにより、何時間も外にいて走りまわっていたので、よく食べ、よく走る健康生活でした。今の子どもたちはやらないですね。
自然が豊かだった小学生の頃、川遊びに夢中でした。澄んだ川に魚が多数体に入れたり、水面にとびはねたり、やすでに鯉取り(卵取り)川べりでつかみどり(鮎・うなぎ・どじょう・かに)は最高でした。
魚とり(鮎・どじょう・タナゴ等) 小川を堰とめ、堰下で魚をとるのですが堰をつくるため、田の畦の土をもち出し、農家の方に散々叱られても、懲りもせず、翌日も同じことをする。家には暗くならないと帰らない生活だった。
小学生のころ、まだ固い「いちぢく」にバクチクを差し込んで、火をつけ空に向かって投げて破裂させて遊んでいた。
還暦近くのオッサンなら、禁じられた遊び2B弾って知ってると思う。たしかに危険だったけどワクワクしたのはたしかだ。最近の子どもはマッチもすれないとか聞くと守られすぎじゃないかな。
子どものころ、ミニ四駆に夢中になって遊んでいました。その延長で大学でも工学部に進学し、研究室でもモーターに関わることを研究しました。
小学生の頃近所の大人の手ほどきで将棋に夢中に！(本将棋)今程盛んじゃなかった65年程前。今は時々指します(アマチュア3級の)後期高齢者です。
公園の砂場で、コースを作りスタートゴールまでビー玉で競う遊びにはまりました。順位もですが、コース途中で他の人のビー玉に当たると自分のものになるルールが楽しかった。自分のを取られるとくやしかったケド。コース作りから楽しかった。たまにネコのうんこがうまっているのが、悲しかった。
「発掘調査ごっこ」にはまっていました。畑を掘ると古代の土器やアクセサリーパーツなどの破片が出土したので専門の教授に見てもらったりして遊んでいました。
小学校時代、子ども会で百人一首の練習会に入り、持ち廻りで家で練習してました。大会に出たり、当時は熱心に取り組みました。自分が一番好きな旬には誰にも取られない様、目を光らせていました。
小学生の頃、毎日のように遊んでいた遊びは、「ポコペン」という遊びです。鬼を1人決めて、顔をふせて、他の人が「ポコペンポコペンひっつきまーしたーポコペン」とみんなととなえながら鬼の背中をみんなでたたき、最後にたたいた人を鬼が当て、当たったら当てられた人がまた鬼になり、当たらなかったらそのまま鬼になってかくれんぼをする遊びです。今、娘に「ポコペン」の話をしてもしりません。時代のせいなのか、地域の遊びのせいなのか少しさみしく感じます。
友人と2人お人形遊びを始めると、毎回粘土で家具を作ろうということになり、椅子やテーブルを作りました。そのうち人形はどうでもよくなり2人とも粘土の家具作りに夢中。たくさん作るために少しの量で家具を作ろうと小型化され、さながらドールハウスに。小学校低学年ぐらいでした。その後友人は美大を受験、私はパートで設計事務所に勤めパースを描くようになりました。
はさみ将棋です。小さい村だったので子どもは少なく、2つ上の男の子とはさみ将棋をして勝った。夕方になると毎日来てはさみ将棋をした。だいたい私が勝っていたがある日からバツリと来なくなった。しばらくして来た彼は強くなってた
小中学生のころ、おじから鮎取りによく声を掛けてもらい付いて行った。昼はころがし、友釣、夜は網漁法を行っていた。私も、ころがしを行ない、ググと引く感触を今も忘れません。大人になり、小さい頃、殺生した事を思い出すが鮎は旨い。
お寺のそろばん塾に通っていたのですが境内で鬼ごっこ、カンけり、など暗くなるまでやりすぎ、そろばんをしないで帰って、親にしかられたのが懐かしいです。なぜ親が知っていたかも気になったまま聞けなかったです。中一で2級はとれました。
今では考えられないことですが、簡単に紙が入手出来ない頃、お菓子は飴などの包み紙贈答品の包装紙など、シワを伸ばし大事に集め友達と交換していました。
カレンダーの裏に理想の家の間取りを書いて妹とよく遊んでいました。なので月が変わるのがとても楽しみでした。
秘密基地を第1から第5まで作ってその日の気分でお菓子を持ってお友達とずっとおしゃべりしてました。今思い出せば危ない場所もあったなああとヒヤリとします。
りかちゃん人形遊びです。中学まで遊んでいる自分に、自分で心配になりましたが、自然に他に興味がわき離れられたのでホッとしたのを覚えています。
子どもの頃と云えば、戦争中も末期の小学校入学前のこと。信州松本市内のお城の近くにあった拙宅玄函先の庭の藤の木のウズマキ状の幹で、近所の友達が集りジャングル遊びや綱渡りのマネをして体をいっぱい動かしたことです。ナツカシイ！
実家の裏にご先祖様のお墓が20くらいありそのお墓を生徒にして学校ごっこを近所の子とよく遊んでいました。石ころや花を給食にみたくて配ったり今から思えば何ともご無礼な話です。ご先祖様お許しを…。でもきっと「かまへんで」と優しく微笑んで下さっていたと思う。
初代ファミコン全盛期でした。カセットの底をフーフーしたりしていたのをおぼえています。
子どもの頃はとにかく木登りが大好きでした。女の子でしたが、休み時間は1人で黙々と登る事も・・・(笑)最近の子は、あまり登ってるのを見かけないので、少しさみしく、もったいないと思います。
男の子はやっぱり野球でしょ。学校が終わってから暗くなるまで毎日みんなで野球三昧でした。やわらかいボールにプラスチックのバットで、近所の人みんなで楽しくやりました。テレビゲームなんて無い時代でしたが、その時はすごく楽しかった思い出します。今はグラウンドで遊んでいる子はみかけなくなりましたね・・・
よく近くの川に釣りに行きましたが、普段ほとんど休みのない父と一度だけ、行ったことがありました。大きな鮎が数匹釣れましたが、バケツを持たずにしかけたため、川原に作った生け簀に入れました。60年前の思い出。最近その川に行ってみると小さな浅い川で、こんなところでよく釣れたなあと思えるようなところでした。
「将来は漫才師を目指して」漫才ブーム、真っ只中だったので友達とコンビを組んで、毎日放課後漫才をしてました。関東人なのに「なにゆうてんねん」とつつこんでました(笑)
”缶けり” 昭和40年代、使用していた缶は、果物が入っていたスチール缶。缶を遠くに飛ばそうと思い、缶といっしょに自分の靴も飛んでいった記憶が鮮明に残っています。
ジュズダマを見つけては沢山とって持帰り、家で友人としゃべりながらネックレスやらブレスレットを作っていました。Wikiをネットサーフィンしていたらジュズダマのページにたどり着き懐かしくなりました。
周りは海で娯楽もなく海に潜って遊んでいました。誰が最も長く潜ってられるか。一番の楽しみは、潜って取ってきたさざえやうに、貝をおやつに食べていたことです。大昔の話みたいですが田舎だったので(笑)
手でボールを動かすサッカーゲーム。一人でも敵と味方と両方自分で動かして遊んでいました。今でも、まだおもちゃコーナーに売っていたので息子にプレゼントしたら喜んで遊んで盛り上がっています。
裏山の雑木林に行き、樹に巻き付いている蔓を利用してのターザンごっこ。うまくいく事はほとんどないが、成功した時は最高の気分！落下して怪我しなかったのが奇跡ですネ！
家の回りの生け垣、門、フェンスの上を地面に降りる事なく一周することにはまってました。竹の生け垣やブロック塀、門がはなれている時は屋根の上に飛び乗ったりしてました。
小学3・4年生ごろ冬に野鳥(メジロ)を細い棒にトリモチ(自分でつくる)をつけてつかまえる。鳥カゴに入れて飼う。春が来たら逃がす。生れは鹿児島県薩摩郡の田舎である。
子どもの頃よく友だちと一緒に海つりに行きました。実家が瀬戸内海の島ということあり、土曜の午前中*の授業が終ると午後から「ゴカイ」等魚のえさを浜に堀りに行き日曜の朝から釣りに行ったものです。*私が小学生の頃は土曜は半日授業でした。
トンボ採りです。畑に分け入り、網でクルマトンボ、シオカラトンボ、赤トンボ、時にはギンヤンマ、オニヤンマも採りました。トウロモコシの先端には必ずトンボが止まっていたものです。20年前頃からほとんど見かけなくなり、その原因は農薬ではないかと推測されているようですが、残念でなりません。(毎日20匹ほど採ってその日のうち自然に返していました。)
ミニ四駆にはまりました。家にあるダンボールでコースを自作しました。しかし、コースを広げすぎて部屋が狭くなり母親に怒られた思い出があります。
将棋が好きな父が、一生懸命ルールを教えてくださいましたが、自分がはまったのは崩し山やまわし将棋でした。今思えば、ちゃんとルールを覚えて父の対戦相手になればよかったなあ。
子どものころ、お年玉のため、ドッチボールを買い、近所の仲間達で真木の木とお茶の木の間の(場方・じょうほう)我が家の入口に足でコートを描き30mを半分に分け、巾5mほどの中に8人～10人ほどでやりました。集ればドッチでした。学校でも、給食が終わり「ごちそう様」が終わると同時、コートの場所とりして、ドッチをしました。帰りは「さようなら」すると放課後、下校の「アニーローリ」の曲が流れるまで遊んでいました。一つのボールで何十人と遊べる遊びで、当って泣く子もいなかったし文句を言ってくる親もなく、男女が仲よく遊べる唯一のなつかしいはまったボール遊びでした。
近所の子どもたちが多く集まって鬼を1人決めてのかくれんぼ。円を8つに分けそこに様々な場所を書いておく。鬼は石をその円に投げて、落ちた所まで走って行って来る間に皆がかくれまわります。範囲が広くてすごく楽しい。暗くなるまで遊んだものです。
子どもの頃はまった遊びはザリガニつりです。木の棒にひもをむすんで、イカをつけてあきずにずっとつっていました。ザリガニを入れておいた水がすごく臭かったのを今でも思い出します。
運動が苦手だったので、家の中であや取りやぬり絵をしている事の多い子ども時代だったと思います。夏休みの自由研究、工作で手芸好きの母から教わったバッグ製作、刺しゅうなどは時間を忘れてやっていたような気がして、今でも時々刺しゅうをしたりします。
子どもの頃はまった遊びはファミコンのスーパーマリオブラザーズです。裏ワザを見つけるのが楽しく興奮してplayしていたのを思い出します。
空き地での陣地取りです。靴のかかとを中心にして、靴の先きに棒をあて円を書きます。これが初めの陣地です。ジャンケンで勝ったら、丸のフチにかかとをあて半円を書き増やしていきます。負けた人は、円を消していきます。こうして土の上にきれいな形に陣地を増していく遊びに夢中でした。娯楽の少ない時代の遊びです。
子どものころ、家の裏の山で栗畑があり、枝をひろったり長い木をひろって小さい小屋を友達と作った。子どもながらになかなかの出来だった。
子どもの頃に初めてのテレビ中継で観戦した野球や大相撲に興味を持ち毎日「野球ごっこ」「相撲ごっこ」に明け暮れたことを今でも鮮明に覚えています。
小学生の頃、横断歩道を渡るとき息を止めたまま白いところを1つとばして、渡りきること。
冬は凍った田んぼでスケートをしました。小学校に行く途中でスベっている時氷が割れてズボンをはしょびしょにして学校に行った事を思い出します。今では考えられません。
缶蹴り遊び。小学校高学年にもなると、範囲が広がり夢中になって日が暮れるまで近所の友人たちと遊びました。今では、すっかり缶蹴り遊びを見かけなくなり、淋しい気がします。
お寺の敷き石の上でやったパッチン(メンコ)です。暗くなると自転車のペダルを踏んで明るくて遅くまで遊んでいました。パッチンにも色々なものを塗って重たくする等、工夫もしました。
子どものころはまったのは将棋です。職員室で先生相手に将棋をするという、小学生でした。というかそういう先生がいたからにはまったのでしょうか？
小学生の頃、ローラーブレードにはまっていました。近所の公園で友達と日が暮れるまで遊んでいました。円になっている1周1分もかからないような広場を何周も回っており、今思えば何に楽しみを覚えていたのだらうと思いません。目の前のことを純粋に楽しめるのは子どもの特権ですね。
弟と手紙のやりとりをしていましたが、あまりにも私が手紙を書くので、困った弟から「病気になったので手紙をもう書けません」という返事がきてしまいました。
友達の家のお風呂場の掃除。夏場は特に冷んやりしているため遊んでいるうちにきれいに磨くことに楽しさを覚えはまった。

メンコ。当時のヒーローの絵が書いてあり、丸型、角型がありました。仲間で取り合うゲーム。大人は強いけど、強さの秘密は袖口にあったことを大分あとになってから知った。昔から大人はズルいなあ・・・
パーマン遊び！！首にふるしきをまき、ただひたすら稲かりをした田んぼを走り、とびまわる単純な事に熱中してました。
松の落ち葉スキーです。よくすべりました。道路を切り拓く(山をくずす)工事の途中、ダンボールでサンドスキーをしました。今では考えられないですね。(安全管理が問題になりますよね)
方言で(げんじー)俗に言うメンコの事です。とにかく強く、沢山集める(勝負して勝つ)事を生きがい？にしていた様な記憶があります。今では考えられないけど。昔は良かったなと思います。65才
ロクムシという円を3ヶ所地面に描いて、攻めが円の間を移動、守りがボールを攻めに当たるといったものでした。ロクムシは方言だと思いますが、他の地方にあったんでしょうか？
鬼ごっこ。いろいろな鬼ごっこをして遊びましたが、なかでも「色オニ」「暗い暗いオニ」という鬼ごっこが流行りました。「色オニ」は指定した色をさわらなくてはいけない決まりがあり、「暗い」は真暗な場所で鬼ごっこをするものでした。思い返すと毎日汗をかきながら走って遊んでいたんですね。
つちのご探検隊 探検セットを購入し友達6人で山に行った。思い出しても楽しくて独りで笑えます。
学校のクラブ活動でパンポンをやっていました。カットやスピンの練習をしてましたが、私は最後までできませんでした。後から日立固有の競技と知った。日立市時代の思い出です。
ロッテさんの「ピクリマンチョコ」におまけで付いたシール集めにはまってしまいました。シールにキャラクターとストーリーが付いたのが子ども心をくすぐったのだと思います。大量に余ったチョコを親にも食べてもらってました。
冬になるといつもどっさり雪が降っていたので、家の前の坂で、弟と一緒にそり遊びに夢中でした。雪でジャンプ台をつくったりして、日が暮れるまであきずに遊んでいた頃を思い出します。
子どもの頃、ヘビの皮を集めるのがはやりました。抜け殻を持つとお金持ちになるという噂のためでしたが、今では触ることも出来ません。
海と山に囲まれたド田舎で、年齢に関係なく皆でハンカチ落としをよくやりました。今現在仕事帰り更衣室で”ハンカチ忘れてるよ”今だに続いているのか？いいえただの忘れん坊・・・トホホ
トントン相撲 小さな怪獣(ウルトラマンやゴジラ)の消ゴムを箱の上に乗せて、箱をトントン叩いて倒れた方が敗けて、相手に怪獣を取られるゲーム。重りを付けたりして、補強してました。
幼稚園から小学生まで、何といってもチャンバラ遊び。竹の棒か柳の枝を削って名刀作りから始まり近所のガキ大将集めて夕暮れまで遊びました。鞍馬天狗はタオルを頭にかぶり、赤銅鈴之介は真空切りを真似て唄を歌いながら英雄気取り。下級生の男児のあこがれの的だったようですが、女の子にはモテなかったですね。
ファミコン。初代のファミコンを比較的早く手に入れました。当時住んでいたマンションの壁は薄く、ピコピコ始めると隣近所の子もたちが集まってきて、さながらTVが初めて導入された昔のようだと祖父が目を細めていたことを思い出します。
小学生の頃は、トランプにはまって、休み時間になると男女関係なく大貧民？(ひんみん)していました。冬は灯油ストーブを囲んで暖かく楽しく過ごしたのを思い出します。
父がNECのPC-6001(バビコン)を購入し、当時小学1年生の私がBASICのプログラムを入力してrunして遊んでました。(そのせいか、今はプログラミングを教える仕事をしています。)
近くの空き地の木の茂みの中に秘密基地を作り脱出路の高台から飛び下りるのが皆大好きでした。そのせいかひざの痛みが・・・
自由帳に髪型、輪郭、目、鼻、口をそれぞれいくつかパターンを書いて、1つずつ番号を聞きながら組み合わせ書いていく遊び！変な顔になったりして面白かったんです(笑)
子どものころの遊びは、夏場ならクワガタを取るための山遊びです。友だち数人と山奥まで入って野犬に追われ、必死で走ったのは苦い思い出です。
海岸での野球:私はいわきの海辺で育ちました。従って子どもの頃はみんな泳ぎが達者でした。そして野球も・・・場所は海岸淵、ピッチャーと打者は陸で守りは全員海の中、打ったら泳いで海の中へ飛び込み舟などの目印の一塁ベースへ・・・おかげで遠泳も確保でき、過去に人命救助できました。現在71才ですが、シニアのソフトボールでも全国大会に行く事が出来、現在も挑戦中です。
「ポコペンやろう」と近所の子もたちが集まって毎日のように遊んでいました。「つつきまーしたよ、ポコペンだーれ？」「どこまーで」と隠れんぼのような遊びです。思い出深い遊びですが、地域的な遊びのようで、大人になってからの友人は知らないようです。「ポコペン」知っている方いますか？
ドッチボールで男子に混ざって試合で負けた。悔しくて、泣いて家に帰り、先生が気を遣い家まで来てくれた。良い思い出です。
小学生のときにビー玉遊びにはまりました。学校から帰ると友達が遊びに来て、家の庭に穴を掘ってビー玉遊びが始まります。ビー玉を穴に順に入れてまわるというゲームです。勝てば相手からビー玉をもらえカラフルな多くのビー玉でいっぱいになり宝物です。みんなに自慢したことを思い出します。
自分で部品を集めてつくった鉱石ラジオをスタートにラジオ自作に夢中になった。
お向いの友人の裏山に「つばき」の花がたくさん咲いていてその「つばき」の木に登ったり花を取ったり、毎日のように野山をかけずり回っていました。きっとスギも群生していたと思います。今50代になり花粉症になるのではないかと毎春ビクビクしています。
小学生の頃、家の前の空き地に積もった雪を掘って、秘密基地をつくって遊んでいました。基地に柵をつくり、そこにこっそりみかんを入れて冷凍みかんを作って食べるのが楽しみでした。
近所によく軽石が落ちていました。アパートの敷地内にある縁石にまたがり軽石を削り、削ったものをプリン用の空のカップに入れて水と混ぜて一日置いてまた軽石を作るという遊びにはまっていました。
昔、学校からの帰り道、道端に咲いているツツジの蜜を吸うことが好きでした。しかし、大人になって、ツツジの種類によっては毒があるものもあるということを知り、大きな衝撃を受けました・・・
小学生の頃・・・ファミコンとの出会いは衝撃的でした。特ににはまったのがスーパーマリオブラザーズで家に帰ったら宿題もやらずすぐゲームをしていてよく親に怒られたのを思い出します。
近所の川でつりをするのが大好きでした。ヤマメ・ウグイ・カジカなど川魚がたくさんいました。とてもきれいな川だったんです。草むしりする母にみみずをばけつにためてもらいエサにしていました(笑)
子どものころはまった遊びは砂遊び。庭にモアイ像を作ったこともあったが、祖父に踏みつぶされたことが忘れられない。
ゲッターロボなどの合体ものがはやっていて、肩車やおんぶ、その他派生形での鬼ゴッコ等。雨の日は折り紙でロボットをつくったりしました。どうやって？今では、とても思い出せないです。
小さな路地の十字路のまんなかの空き缶置いての缶ケリでした。ふつうに他人の家の中に隠れたりして、今では考えられません。
子どもの頃は模型作りが好きでした。ラジオ、船、飛行機などで特に小学校の時に作った鉱石ラジオは田舎が九州なので隣の国の言葉が邪魔をして日本の放送が夜は特に聞きにくかったです。そんな中で流れて来た歌手は今でも大ファンになっています。
「グリコのおマケ」ジャンケンで、グーは「グリコのおマケ」7歩、チョキ「チョコレート」で6歩、パーは「パイナップル」で6歩進んでいき、学校から家までどちらが先につくか勝負した事
「悪魔くん」地面に穴を掘ってその中にビー玉を入れて遊びます。家の回りが穴だらけでした(笑)外で遊ぶのが当たり前の時代でした。
空きカンの飲み口で木の枝を切って、友達とどれだけたくさん切れるか競っていました。一時期はまりすぎたときは朝から夕方までやって、切った枝が山積になっていました。
小さな小学校でした。5年生・6年生を合せても14人です。ソフトボールをするにも全員が参加しても定員になりませんが、楽しくて毎日のように放課後全員で遊びました。なつかしいです。
シルバニアファミリーです。本物そっくりの家具や小物に女子心はくすぐられっぱなしでした。父が家を手作りしてくれ、とても大事に遊んだのが忘れられません。今でもとってあります。
カードゲームにはまっていました。遊戯王、デュエルモンスターズ等々・・・この前掃除していたら、カードが出てきてなつかしく感じました。
子どもの頃夢中になって遊んだ家の裏の丘の斜面に友達と作った隠れ家。斜面に生えてる草木で作ったそこに毎回のように通った思い出の場所。大人になり子ども連れて帰省した折り懐かしくなりその場所を覗いてみた。「こんな狭い所で遊んでたのか」とその小さな場所をしばらくの間見入ってしまった。友の顔も流れ、皆元気でいて欲しいと思わずにはいられなかった。
まだゲーム機やテレビが無い時代です。学校から帰るや否やランドセルをほうり出して野外へとび出し、「豆野球」に熱中していました。テニスボールよりやや小さいゴム製の「マリ」を、投手がトスしたボールを手で打ちつけ「三塁ベース」を掛け廻るのです。その熱中ぶりは今の子ども達のゲーム機以上だったと思います。
「引っ越しごっこ」です。自分と弟の机がそれぞれ”自分の家”と仮定して、「今度引っ越しです。あら、おたくもですか。ではお元気で。」と言って机のものぜんぶとり出してお互いの机に収納して、それがお引っ越しごっこ。よくもめんどくさがらずに、その遊びをくり返してはまっていました。
海で潜って、鮑やツブ貝を採り、自分で食べ親にも「良くとれたね。おいしい」と言ってもらえるのがうれしく毎夏バケツ一杯にとって来た思い出あり。10才までいた宮城県網地島の思い出で大人も寛容だった。
小学生の頃、鬼ごっこにはまり校庭で暗くなるまで走りまわっていました。今の子は、安全面や習い事などで学校帰りに遊べないと聞くので時代が変わったな～と思います。
カイセントウ 今は危険ということで公園からも学校の遊具としてもなくなってしまったけど大人気の遊具でした。落下して骨折した子もいたけどだからといってなくなることはなかったのに今はとにかく安全第一ですね。
昭和30年代の長野の田舎で3～5人の子どもで熱中した、一種の陣取脱出ゲーム。道具は10cmぐらいの釘のみ。地面に釘を投げつけて、釘が倒れないようにささった場合に陣を進められます。
おりがみ遊びが好きでした。作品をふやしならべていました。息子がトミカをならべながめる姿に、親子を感じます。
近くの土手でそのり滑りです。週末の朝、父親と一緒に土手に行き、何度も土手を滑りました。仕事が忙しく平日はほとんど会えない父でしたが、少しでも時間を作って遊んでくれた良い思い出です。
大山国定公園の地元で子どものころから育った子は皆、小さいころから大山コマで遊び、けんかコマで戦いました。こういう伝統的な遊びを後世まで残してほしいです。
近所の小川で魚をとる！網を片手にフナをとりによく行った。コツをつかめば手づかみでもOK。運動会の後は放流された金魚もGetしました。あの頃の水はキレイでした。
どろけい 足の速い子がすぐ捕まるかと思いきや、そうでもなく皆けっこ好きの子を追いかけることが多く誰が誰をすきとかわかってしまったり、あまり追いかけれずつまらないと言ってる子がいて、当時は色々思い出しながらつらくなります。小学生って足の速い子がモテるから、女子がおいかけても、モテる男子はなかなかつかまらないんですね(笑)
オリジナルソングを作ること。小学校からの帰り道、一人で鼻歌ながらに作詞までして曲を作り、歌うことが好きでした。
よく近所に住む幼馴染と外遊びをよくしていました。1～6年生ぐらいまで7、8人で中当て(ドッジボール)をして遊んでいました。昔住んでいた場所は家の前に道路(あまり車の出入がない)がありそこでよく遊んでいました。今と違い家があまり建っていないので車の出入が少なく危なくなかったです。今は外遊びをする子どもが少ないですね。
地元だけの遊びかもしれないが「Sけん」という遊びにはまってました。運動場に水で描き、AチームはBチームゾーンに、BチームはAチームゾーンにけんけんに向かっていき相手のエリアに入ると勝利というルールでした。周囲の〇は安全ゾーンで、両足で立つことができます。クラスの男女問わず皆で遊んだ思い出があります。
小学生時近所には男子ばかり。周りは田と畑に山、秋には田の中を走り回りました。稲刈りの後は少しの間鬼ごっこも出きワラを積んだ影ではカクレンボ。女子は妹と二人だけ男子に負けじと追っかけました。のどかな楽しい50年程前のことです。畦にはタンポポ、白ツメ草、田んぼれんげの花。
戦後間もない時期で、遊び道具は何にも無い時代でした。竹を切って缶けりの代用にしたり、トンボやバツタ取り、水ぬるむ頃には、小川にはまってメダカやどじょう鮒等を追っていました。遊びを通して大きい子は小さい子の面倒を見、小さい子はそれを見て子ども社会の秩序を覚えました。「いじめ」なんて事は考えられませんでした。
直径5cm(小)、10cm(大)の厚紙の表面に動物やマンガのキャラクターを画かれたパッチで相手のパッチをひっくり返したり、すくったりしてパッチをゲットするあそびをしていました。

S28年頃(小5～6年)我が町に車が来るとめずらしさもあって、友達がわぁ～と喚声をあげ車に寄って行ったものです。何か乗って遊びたくまりました。家は鮮魚商をやっていたのトロ箱が沢山ありました。この箱に戸車(トグルマ)4個取付て箱に乗れるようにしました。乗ったら両足で地面を蹴るのです。よく造りました。友達数人集まるとジャンケンして、勝った者が乗れます。こんな楽しい遊びを毎日していました。こわれやすいので修理もしました。木製のトロ箱(トロはトロール船の略)
「釘差し」2人以上、土の地面に中心から左回りに手(腕)を振り下ろして釘を順番に地面に刺し、(ささらないとダメ)前の位置と直線で線を引く。次の人はどの位置に刺すか考える。相手の内側で線と線の幅が必要。相手の線と交わったら負け。できるだ丈、幅を狭くするのがベター。少し分かり難いかな。
子どもの頃、結構はまったのがジグソーパズルです。小学生の頃は日本地図や世界地図、中学生の頃からは500～1000ピースくらいのパズルを仕上げては額に入れて部屋に飾っていました。今では老眼になってしまい、やる気力もなくなってしまいました・・・
竹スキー。雪国富山の冬の楽しみは竹スキーを作り滑ること。竹を切り、割り七輪の炭火で竹を曲げる作業が一番難しい。よいスキー作りはリーダーの資格、ガキ大将のあかしだった。
ビックリマンチョコのシールを集めて、友達と交換し合いました。キンキラの光るシールや、気に入ったシールは家に置いていたり隠して行っていたのを思い出します。
コマをキャップの上で回し(キャップに載せる)より小さなキャップに載せるのが腕競べします。コマをキャップの上に乗っている間に逃げたり鬼の場合はつかまえたりする遊びです。(自分のコマをみがいたり、パランスを良くする為、よく研いだりしたものです。)
共働きだった我が家、母の帰りを待つ間よく着せ替えをしていました。着せ替えは、紙で出来たものでした。ハンカチをいっぱい広げて、大きめのハンカチはりビング、お気に入り自分の部屋にと妄想していた私。小学5年生になった時、一軒家に引越しをし自分の部屋が出来て嬉しかったのを今回のテーマで思い出しました。
画用紙にカラフルなクレヨンで一面に色をぬり、その上を黒いクレヨンでぬりつぶします。その紙につまようじで絵を描くと、カラフルな面の色が出てきて「かわいい！」と小学生の頃みんなで夢中になっていました。最近「スクラッチアート」という名前でもはやっているらしいです。(本屋さんで見かけびっくりしました。なつかしい。)
ペーゴマです。タライにゴムシートを張って、ペーゴマを廻しながら次々に投げ入れます。回転しながら、ぶつかり合った相手のコマを外にはじき出せばそのコマが自分の物になる。勝ちたい一心で金属製のコマをヤスリ掛けて手入れしたものです。
父が買ったカセットテープレコーダーに弟と自分と2名でデタラメ語を録音してそれを聞いて笑っていました。
今から45年前ゲームはアナログで「人生ゲーム」が大流行でした。そんな中、女の子版人生ゲームというべき「ハッピーエンド」というボードゲームがあり、友達の集まる家へ自転車の荷台に括り付け持参でせっせと通って乙女心くすぐるハッピーエンドを夢見てゲームしたものです。
フェルトの毛糸を使って指人形をつくるのにはまりました。今でも細かい作業が好きでハンドメイドが趣味です。
どろけいが好きで外でも学校の中でもやっていました。こどもに教えたら幼稚園ではやりだしたそうです。
ビー玉遊び。田舎育ちでもあり庭は比較的あったことから、よく近所の子と農閑期には日が暮れるまでビー玉で陣地とり等でビー玉の争奪戦を行いました。
山でよく竹で鉄砲をつくり打ち合いっこをして遊んだ。玉は枝の実をつめる。そのせいで免疫ができたのか、未だに花粉症にかからないです。
着せ替え人形 洋服をたくさん買ってもらえなかったこともあり、紙でできた服を着せ替えるのが好きでした。マンガの付録についていたと思います。兄弟年齢が離れているから一人遊びに最適でした。
探検ごっことはいえ、街の中の小学校だったので登下校の時の道とは一本違う横道に入ってはほんのちよとした街並みに違いにドキドキした。
わたしが生まれ育った場所は田舎で回りは山や川ばかりでした。友達とよく防空壕の探検や基地を作って遊んでました。投稿テーマを見て思ひだし、ついついにやけてしまいました。
終戦直後の小学校の頃ペーゴマ遊びに夢中になった。〇〇に勝った為、ヤスリなどを使って角を鋭くしたり、幼い工夫が懐かしい。たくさん集めたペーゴマ。あれはどうしたんだろう。記憶にない。
子どもの頃メンコが好きで勉強そっこのけでメンコばかりやっていた。勉強機の引き出しの(文房具をだして)メンコを満杯に入れておいたのを父親に見発されて大目玉を受けたことを忘れません。
自転車をつかった「ドロケイ」でよく遊びました。自転車ごと相手にぶつかっていくのです。もしドライブレコーダーがついていたら、大目玉まちがいなしでした。昔でよかった。
近所には生えている雑草をとってきてつぶしたり、水で混ぜたりして発明ごっこを日々していました。雑草が本気で何か生まれかわると信じていました。
三輪車を逆さまに置いて前輪のカバーに砂をかけてペダルを回して遊ぶ焼き芋屋さん。なぜ焼き芋屋なのかは不明だった。
小学生のときブランコをこぎながら行う靴飛ばしを楽しんでいました。3～4人で各自ブランコをこぎ、好きなタイミングで靴を飛ばして、一番遠くへ飛ばした人が勝ち。けりだす角度やタイミングで飛距離が大きく変わるのなかなか奥が深い遊びでした。
小学校の頃、帰りに道沿いの流れの速い小川で毎日のようにボートレースをしました。アイスバーの板を短く切ってボートにみたくて、よーいどんで流すだけのレースです。それでも流れの具合やコースで抜きつぬかれつ途中で引かかったり熱中しました。
自分の姉妹と近所の友達と合わせてちよど5人。ゴレンジャーごっこをしていた記憶があります。全員女子でしたが。。。。
Sけんという大人数で遊ぶ陣取り合戦。遊び方は、ウィキペディアで調べてほしい。攻めと守りでけっこう激しい戦いになるので、おもしろかった。土面に書く独特のS字の陣地が他の遊びと違って、陣地の書き方で勝敗が分かれるのもおもしろかった。
私の育った山形ではメンコをベンコと呼び、朝は早目に子どもたちが集まり、ベンコをやってから学校へ行った。絵柄には源義経、木曾義仲、山中鹿之助等が描かれていた。またベンコのうまい子は「ベンコ太郎」と呼ばれ、仲間から英雄視されたものでした。
ビー玉遊び！今はゴルフボールを穴に入れている。
森に入っの虫取りにはまっていました。カエルを段ボール箱いっぱいを持って帰り、親に怒られた事を思い出します。
秋の稲刈りが終わってからの春先の田耕しが始まるまでの比較的硬い田んぼで、近所の子どもが10人程集まって野球をしたのが楽しかったです。ビニールボールを木の棒で打つという原始的な野球でした。
道に落ちている小石や、家で使わなくなったボールペンやダンボールでおもちゃを作るのにはまっていました。家に拾ったものがあふれすぎた時はさすがに母に怒られました…
ファミコンのマリオ。泥んこ遊び。すごーくかたーく砂玉を作りました。表面はツルツルで何に使うの！？って今では思います。
遊びと言って良いのかわからないけれど新聞の名前を切り抜いて集めました。外国の新聞とか手に入るととても自慢したものです。廃品回収で新聞を集めました。
幼稚園のころ、ピカピカのドロだんご作りにはまりました。無言で長時間しゃがみこみ、つるつるのまんまるになるまで作ったお団子はどこにいったのか…作っただけでまんぞくしてました。
子どもの頃はまった遊びは、ゲーセンのTVゲーム、インベーダーゲームです。小遣いが100円なのに、1プレイ100円でした。思えばとても贅沢な遊びでした。でもお金を優先してどう使うか？を考えるきっかけになったと思っています。
“ポコペン” 缶けりに似ている遊び。地域が限られているかも知れない。ドラゴンボールのアニメにもちよと決まり文句が出るから作者も遊んでいたはず。
遊びと呼べるのかわかりませんが、友達とシール手帳を見せあって交換しあったことが記憶にのこっています。色々な思い出が詰まったシール手帳は今でも捨てられず大事にとっています。
小学生(1～2年頃?)おはじきが流行り、休み時間が過ぎてもして、おはじきは学校にもって来るのが禁止になりました。
ミニスキーを履いて、ちよとしたジャンプ台を雪で作って、日本代表選手になった気分ジャンプ大会の遊びをしていた。
外遊びが大好きだったが、小学生の頃、「ポケモンのゲームボーイ」がとても流行り、母に買ってとおねだり。今では息子から言われる立場に！何十年たっても流行りが同じでびっくりです。
春になると田んぼはれんげの花でピンク色。花を摘んで何本もつなぎあわせ、川の流れの中で長さ比べをしました。夏は家の前の川で泳いだり、魚を採ったり自然の中でたくさん遊びました。石ころで陣取りゲームやゴムとびと、近所の子ども達と夕方暗くなるまでいっぱい遊びました。楽しい思い出です。
私の子どもの頃は、今と違って近所の子どもたち大勢で外でベースボールやかくれんぼなど色々な遊びをしました。ちよとした道具は自分で作ったり、あるものを使ったりしてました。自然を相手に夏は川で泳いだり魚を捕まえたり、冬は近くの畑や段々畑をジャンプ台にして遊んでました。
数珠玉の実を使って手作りのお手玉を母に教わりながらいくつも作った。お友達にもプレゼントして一緒に遊んだが、お手玉自体が上達しなかった。
一斗缶のふたを金づちで叩いて延ばし、金きりばさみで切って手裏剣を作った。木の板によくささるので、神社の建物にさして遊んだ。今思えばなんとバチ当たりな・・・
ボードゲームの日本一周鉄道の旅(みたいな)です。特急の名前だけでなく、大きな都市の名前も自然に覚えられました。子どもにと思い、似たようなのを探しましたが、最近のは難しい。シンプルなのを探しています。
子どもの頃おばあちゃんに教わって“あや取り”にはまり、学校でも友達を誘ってしていました。自分に娘ができ、教えてあげたかったのですが、すっかり忘れてしまいました。
大根抜きという、足を引いて大根役の人を抜く遊び。北海道だけと聞いて驚きました。
私が通った幼稚園は、自由な遊びをさせてくれる園でした。おもちゃも厳選されてヨーロッパ製や日本製のものを取り入れ、おままごとやあや取り、とにかく自分のしたいことをさせてもらい楽しかった思い出があります。自分も親となり、子どもにはのびのびと遊ばせてあげたいと思います。
子どもの頃、はまった遊びはおままごと。近くの畑で咲いている花や草を使わなくなったキッチン用品で料理してプチ本格的に。折り紙を潰して溶かしてキラキラ絵具と混ぜてジュース屋さんも楽しかったな。